

# 地区別カルテ (①上富地域)

## ■地域現況

- ・ 地域人口は3,137人（全市に占める割合8.3%）であり、**ライフバス沿線上を中心に**分布している。
- ・ 老年人口は990人、高齢化率は31.6%であり、**高齢化が進んでいる**。
- ・ 地域内には、西武バスが2路線、ライフバスが3路線運行しており、**前者は所沢・上福岡方面、後者はふじみ野駅・鶴瀬駅・みずほ台駅にアクセスすることができる。**

## 【地域概要】

表 地域概要

		上富地域	町全体
面積		7.179km <sup>2</sup>	15.33km <sup>2</sup>
世帯数		1,451世帯	16,771世帯
人口	総数	3,137	37,942
	0～14歳	254	4,514
	15～64歳	1,893	22,559
	65歳以上	990	10,869
	75歳以上	539	1,778

表 地域内の公共交通

路線	起終点	便数
西武バス		
所58	八軒家～中西	
ライフバス		
4系統	鶴瀬駅西口～三芳中学校経由・西原住宅循環線	森の里団地～上富橋 20便
5系統	鶴瀬駅西口～三芳中学校経由・みずほ台駅西口折り返し線	上富橋～正電社前 12便
6系統	鶴瀬駅西口～A上富経由・Bセントラル病院経由 ～ふじみ野駅西口折り返し線	森の里団地～三協前 上富橋～西原住宅 9便

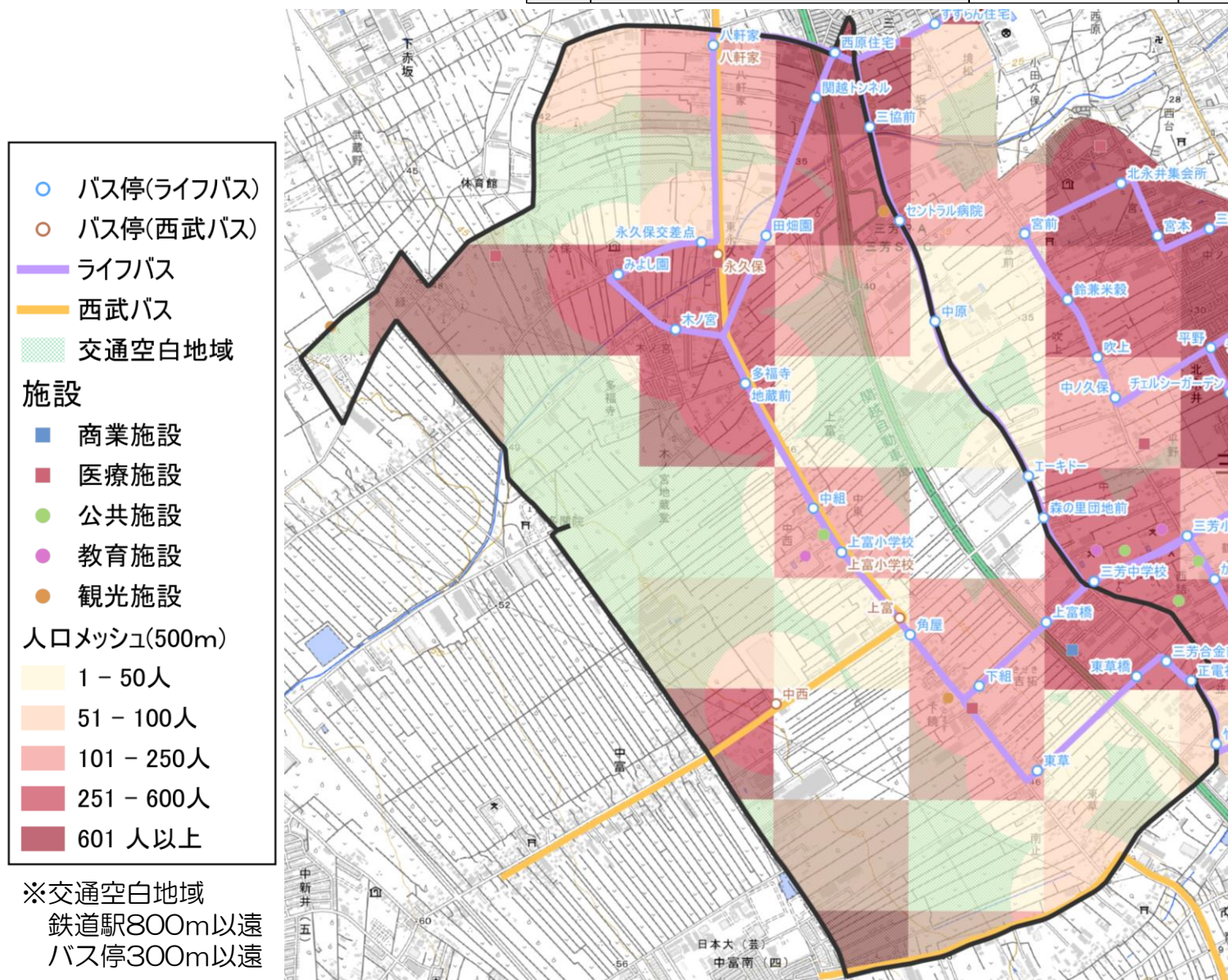


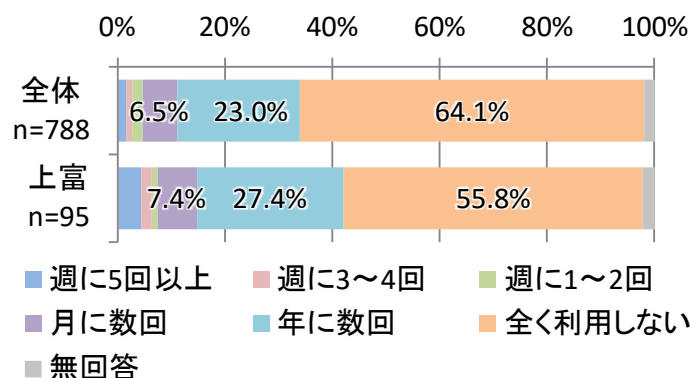
図 地域現況図（人口、施設立地、運行ルート）

## ■公共交通の利用状況

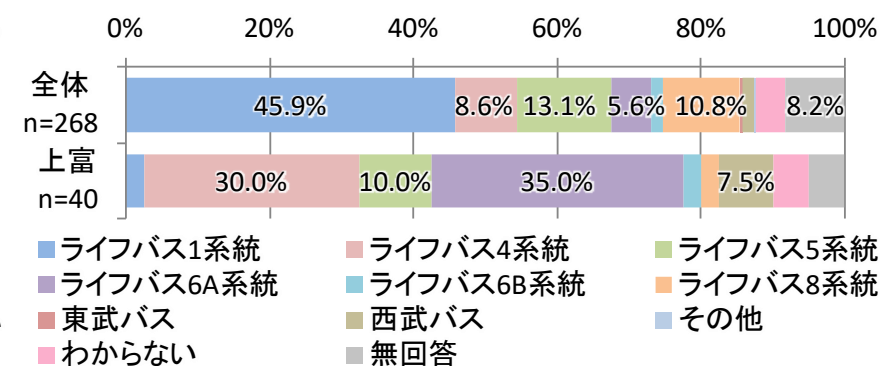
- ・ 地域内の路線バスの利用頻度は、「**全く利用しない**」が**55.8%**と多くなっている。
- ・ 最もよく利用する路線では、「**ライフバス6A系統**」が**35.0%**と最も多くなっている。
- ・ 路線バスを利用する際の外出目的では、「**その他**」が**47.5%**と最も多くなっている。
- ・ 自宅から最寄り鉄道駅までの移動手段では、「**自家用車（自分で運転）**」が天候に関わらず最も多くなっている。

## 【利用状況】（R5町民アンケートより）

### ① 路線バスの利用頻度



### ② 最もよく利用する路線



※ ②,③は①で「全く利用しない」以外を回答した人のみ

### ③ 路線バスを利用する際の外出目的

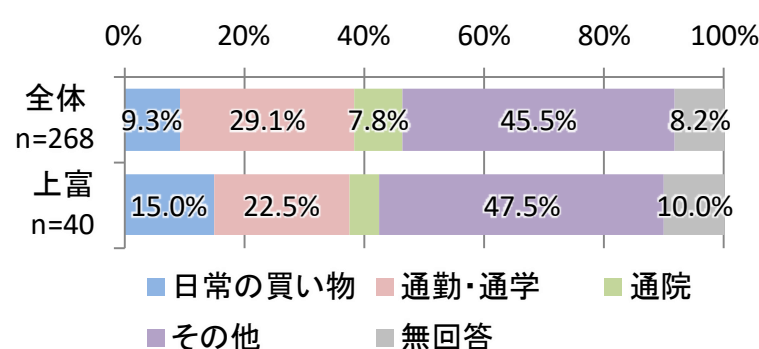
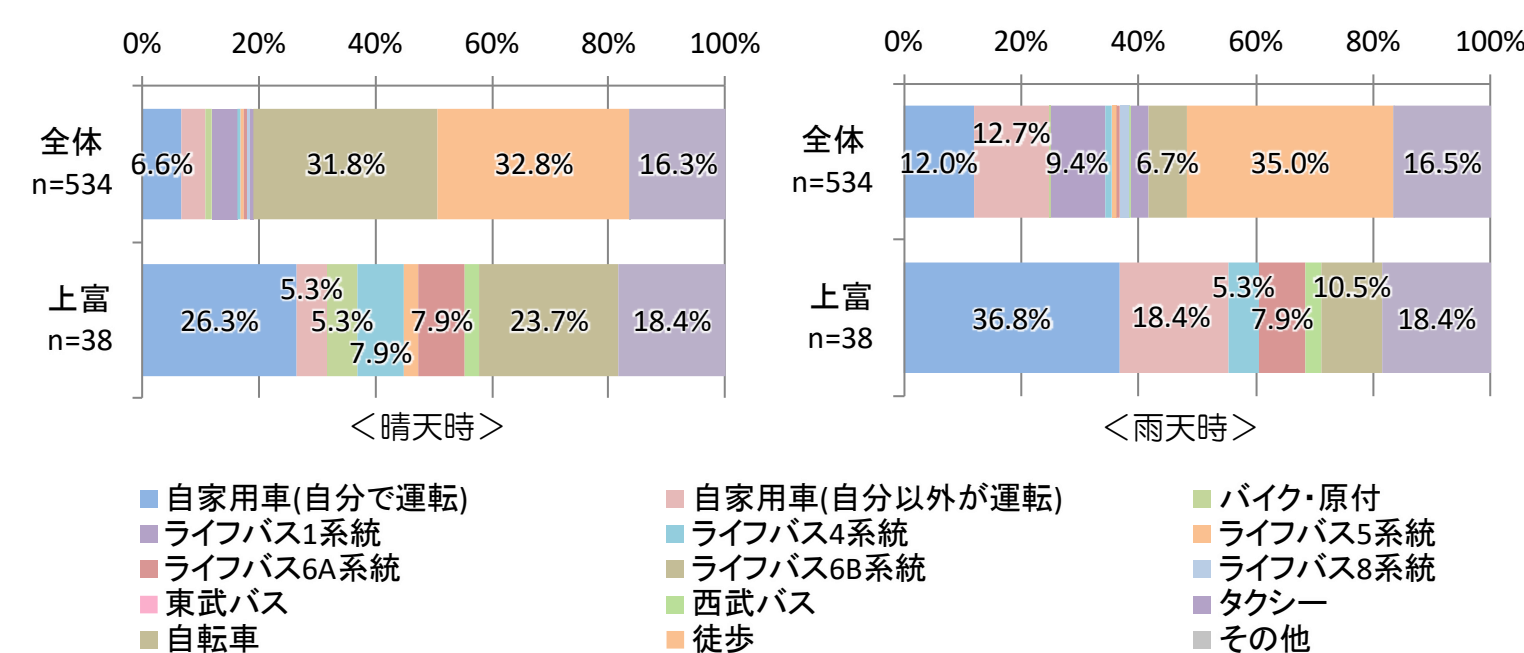


表 その他回答

	回答数	割合
趣味・娯楽・行楽	4	21.1%
旅行・観光	2	10.5%
外食	2	10.5%
家族の送迎ができないとき	1	5.3%
役場に行くとき、眼科に行くとき	1	5.3%
祭・旅行など車で行けない時	1	5.3%
無回答	8	42.1%
合計	19	100.0%

### ④ 自宅から最寄り鉄道駅までの移動手段



※ 図は5%未満を非表示

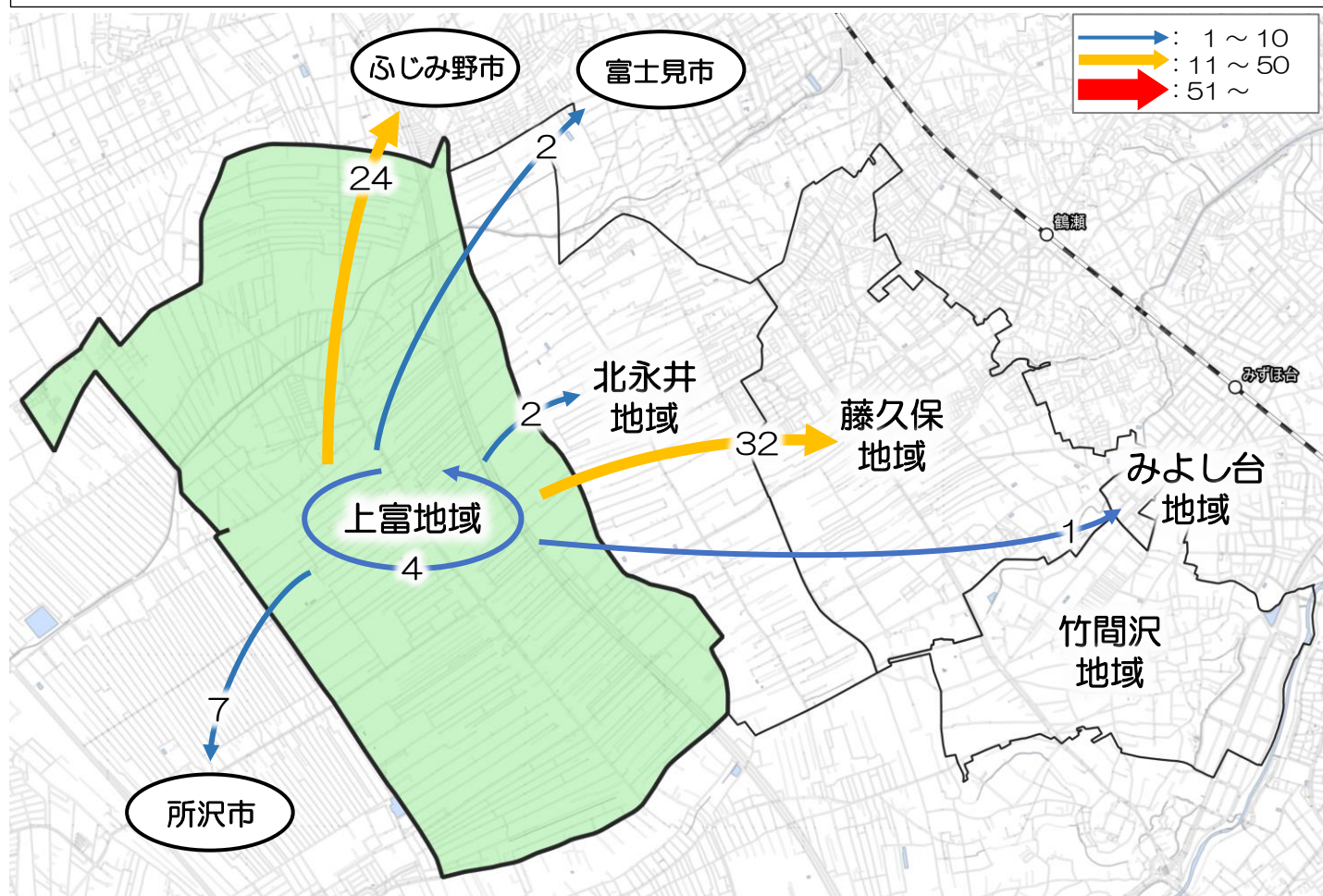


# 地区別カルテ (①上富地域)

## ■移動特性 (R5町民アンケートより)

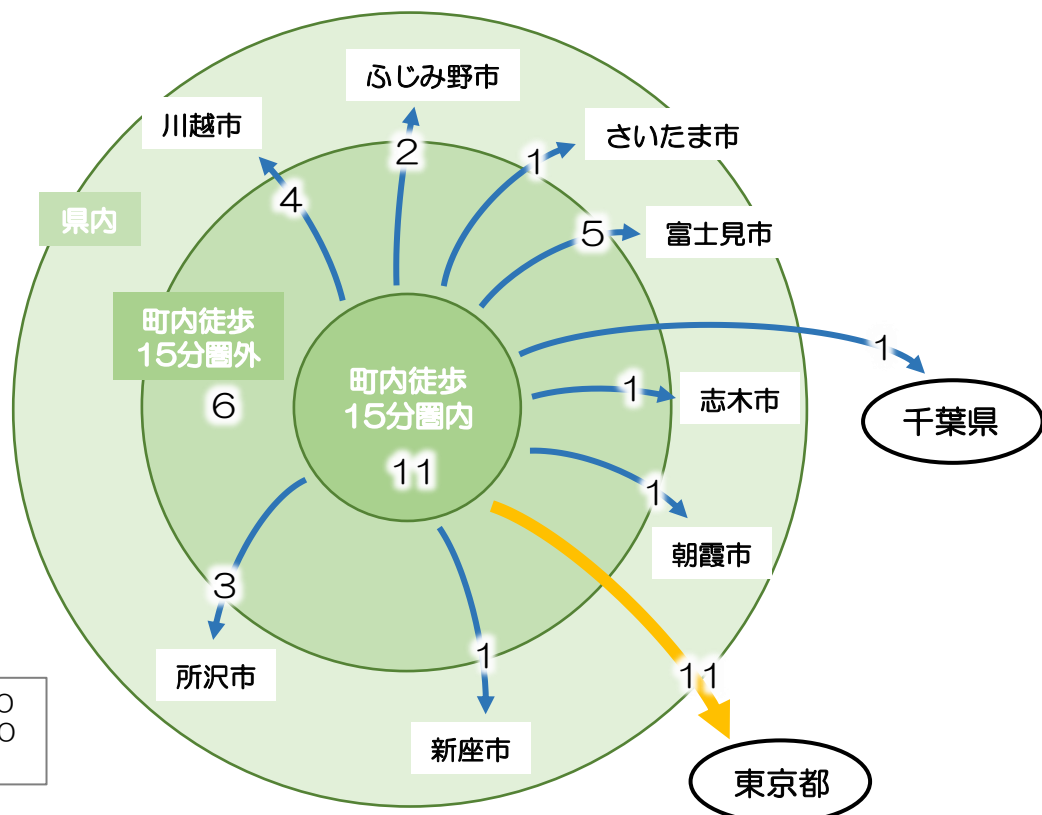
### 【買い物】

- 買い物先として、町内では「藤久保地域」への移動が多くみられ、町外では「ふじみ野市」への移動が多くみられる。



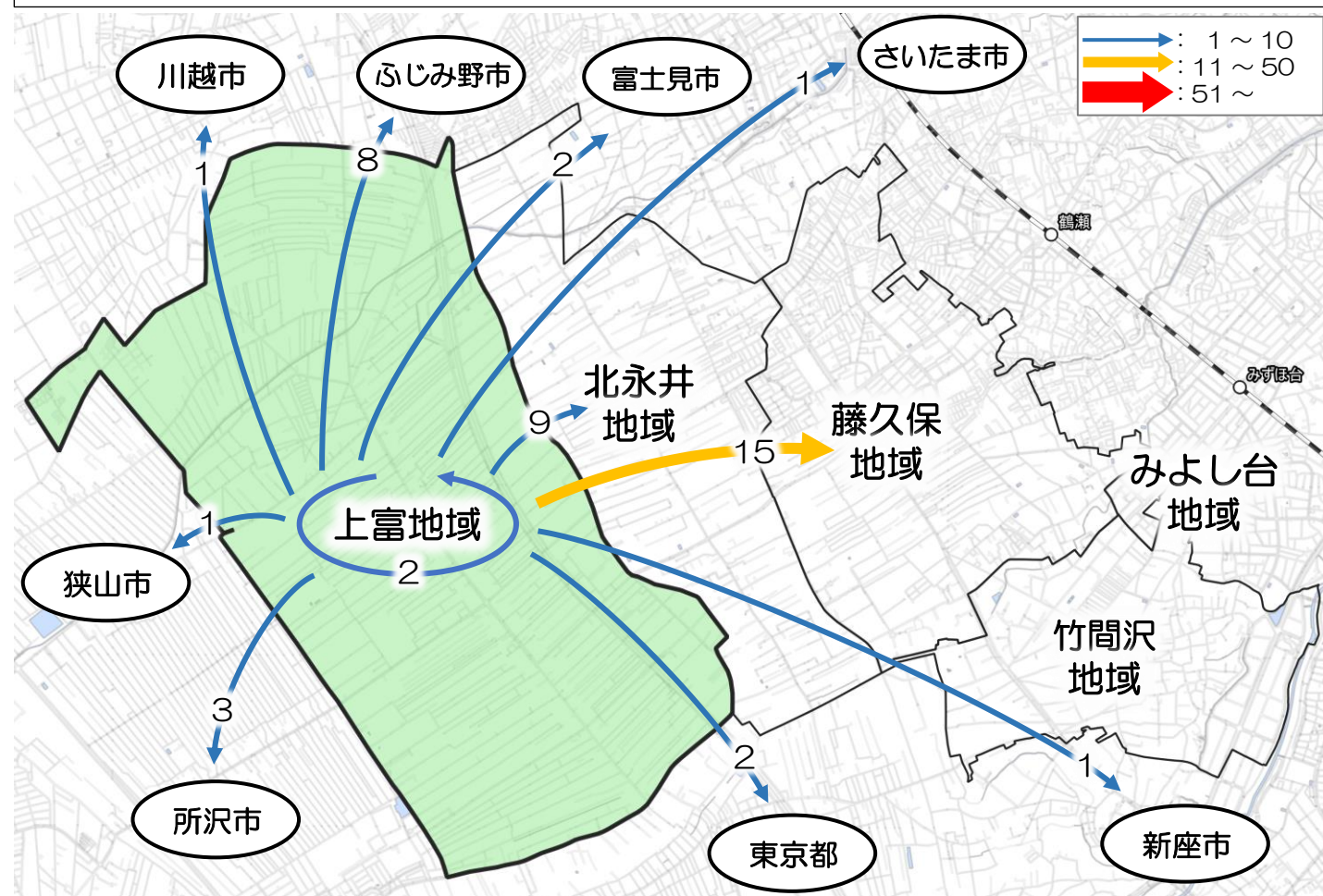
### 【通勤・通学】

- 通勤・通学先として、「町内徒歩15分圏内」と「東京都」への移動が最も多くみられる。



### 【通院】

- 通院先として、町内では「藤久保地域」への移動が多くみられ、町外では「ふじみ野市」への移動が多くみられる。



## ■地区の現状・問題点と課題

### 【現状・問題点】

- みずほ台駅・鶴瀬駅方面への移動ニーズが比較的少ないが、ライフバスが当エリアからみずほ台駅まで運行されており、非効率的な運行ルートとなっている可能性がある。
- 一方で、移動ニーズの多いふじみ野市、藤久保地域方面に対して、交通サービスの十分な利便性確保が必要である。
- 所沢市、狭山市に隣接する地域であるが、移動需要は町内あるいは東武鉄道駅に集中しており、公共交通利用においても所沢方面への利用は限られている。
- 地域西部にて、一定の人口が集積しているながらも、公共交通の運行がないエリアがある。
- ライフバス4系統あるいは6A系統の利用が特に多い。

### 【課題】

- 公共交通利用促進にあたり、ふじみ野駅へのアクセスを担う交通について、増便・時間帯調整などによる利便性向上が求められる。
- 買い物・通院における移動需要の高い対藤久保地域へのアクセスについて、対象となる施設を精査した上で、現行路線での対応の可否及び将来的な対応について検討が必要である。



# 地区別カルテ (②北永井地域)

## ■地域現況

- 地域人口は6,535人（全市に占める割合17.2%）であり、**ライフバス沿線上を中心に集中**している。
- 老年人口は2,117人、高齢化率は32.4%であり、**高齢化が進んでいる**。
- 地域内には、ライフバスが5路線運行しており、**鉄道駅、三芳町役場など**にアクセスすることができる。

## 【地域概要】

表 地域概要

	北永井地域	町全体
面積	3.053km <sup>2</sup>	15.33km <sup>2</sup>
世帯数	2,849世帯	16,771世帯
人口	総数	6,535
	0～14歳	737
	15～64歳	3,681
	65歳以上	2,117
		37,942
		4,514
		22,559
		10,869
		1,778

表 地域内の公共交通

路線	起終点	便数
ライフバス		
1系統	鶴瀬駅西口～三芳・北永井循環線	富士塚～北新埜 26便
4系統	鶴瀬駅西口～三芳中学校経由・西原住宅循環線	三芳小学校～三芳中学校 20便
5系統	鶴瀬駅西口～三芳中学校経由・みずほ台駅西口折り返し線	三芳小学校～三芳中学校 12便
6系統	鶴瀬駅西口～A上富経由・Bセントラル病院経由 ～ふじみ野駅西口折り返し線	三芳役場～三芳中学校 9便
8系統	鶴瀬駅西口～チェルシーガーデン 経由・みずほ台駅西口折り返し線	富士塚～そよかぜ保育園前 12便

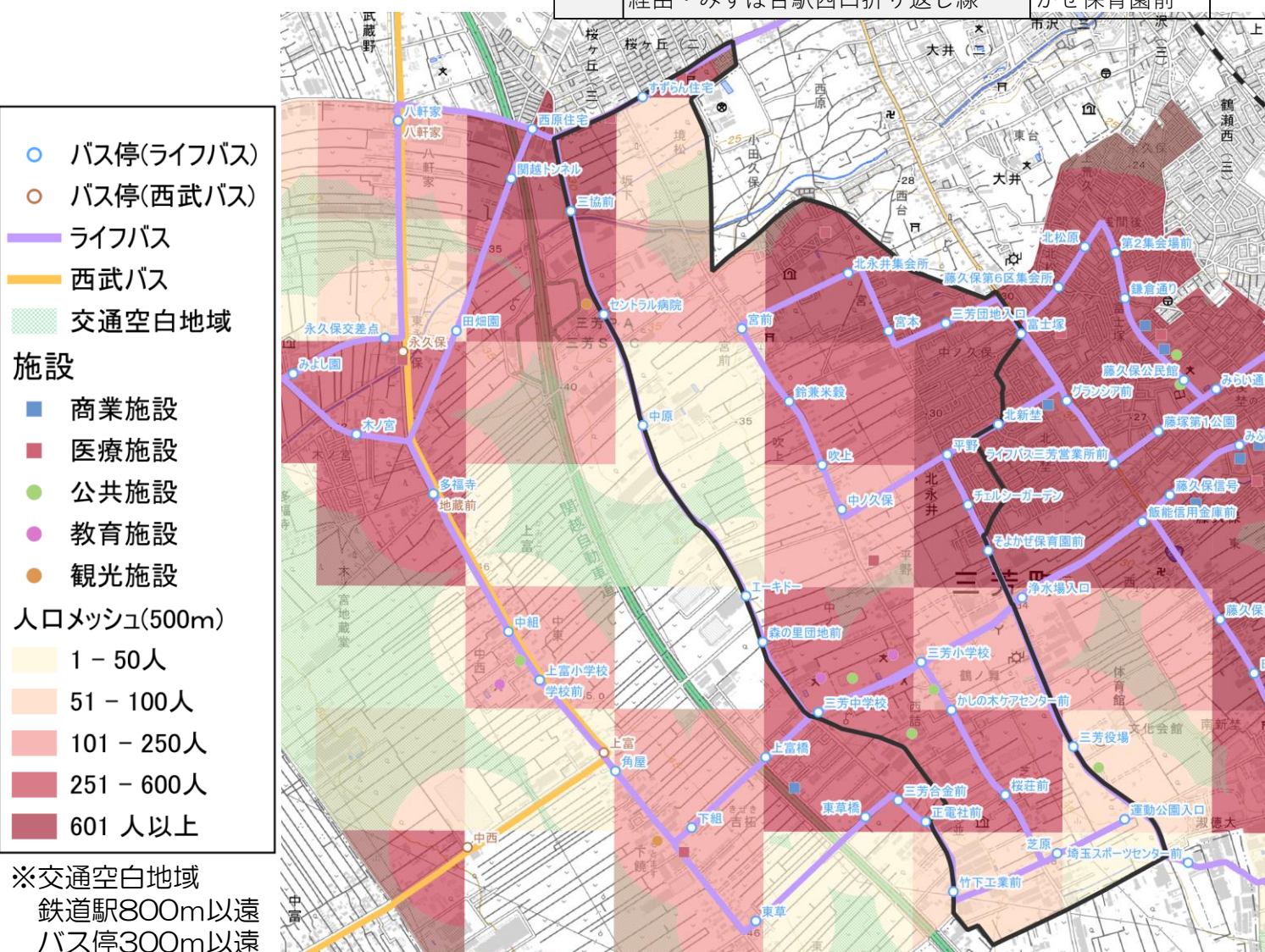


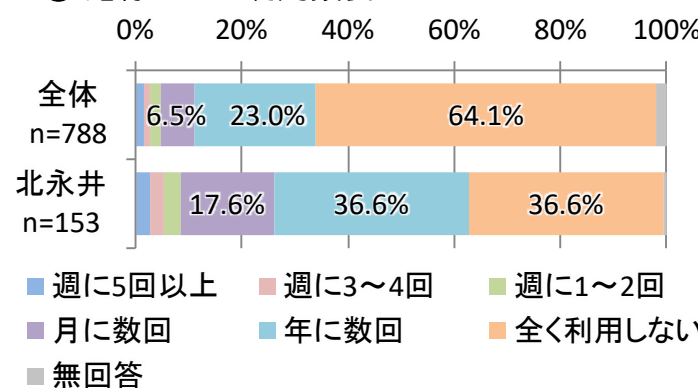
図 地域現況図（人口、施設立地、運行ルート）

## ■公共交通の利用状況

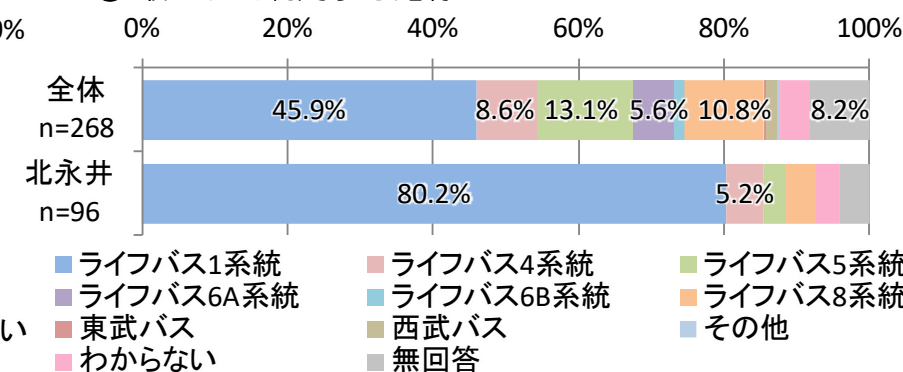
- 地域内の路線バスの利用頻度は、「年に数回」と「全く利用しない」が**36.6%**と多くなっている。
- 最もよく利用する路線では、「**ライフバス1系統**」が**80.2%**と最も多くなっている。
- 路線バスを利用する際の外出目的では、「**その他**」が**43.8%**と最も多くなっている。
- 自宅から最寄り鉄道駅までの移動手段では、晴天時は「**自転車**」が**40.0%**、雨天時は「**ライフバス1系統**」が**32.6%**とそれぞれ多くなっている。

## 【利用状況】（R5町民アンケートより）

### ① 路線バスの利用頻度



### ② 最もよく利用する路線



※ ②,③は①で「全く利用しない」以外を回答した人のみ

### ③ 路線バスを利用する際の外出目的

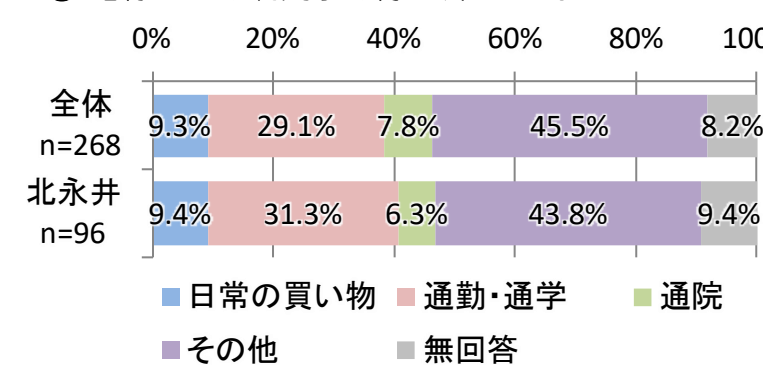
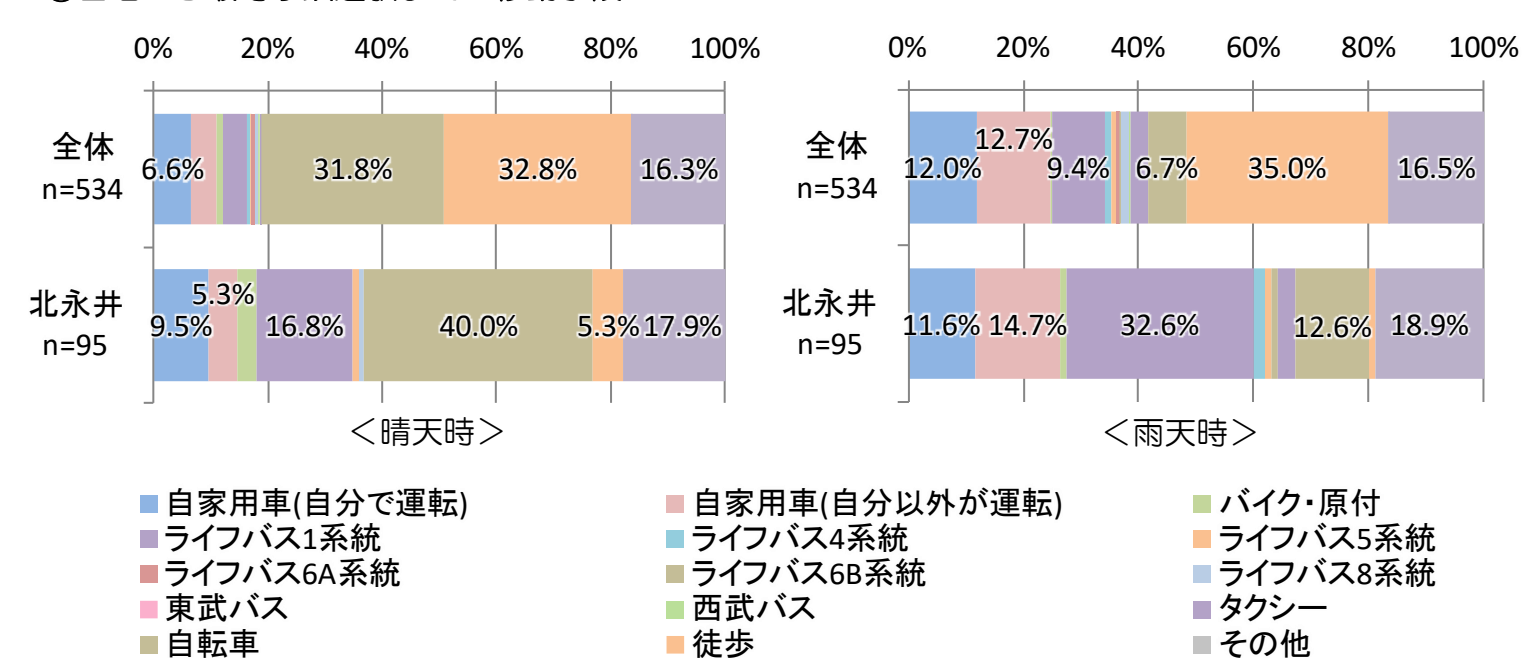


表 その他回答

回答数	割合	回答数	割合
趣味・娯楽・行楽	8 19.0%	外食や観光など	1 2.4%
駅に行く時	7 16.7%	たまの外出	1 2.4%
都内や他県に外出	5 11.9%	宗教	1 2.4%
外食	4 9.5%	見舞い、友人との外出等	1 2.4%
食事会・飲み会	3 7.1%	小3の子供と外出（旅行できないので気分転換にバスで駅まで行って外食して帰る）	1 2.4%
レジャー	2 4.8%	無回答	5 11.9%
鶴瀬駅に行くため	2 4.8%	合計	42 100.0%
友人宅	1 2.4%		

### ④ 自宅から最寄り鉄道駅までの移動手段



※ 図は5%未満を非表示

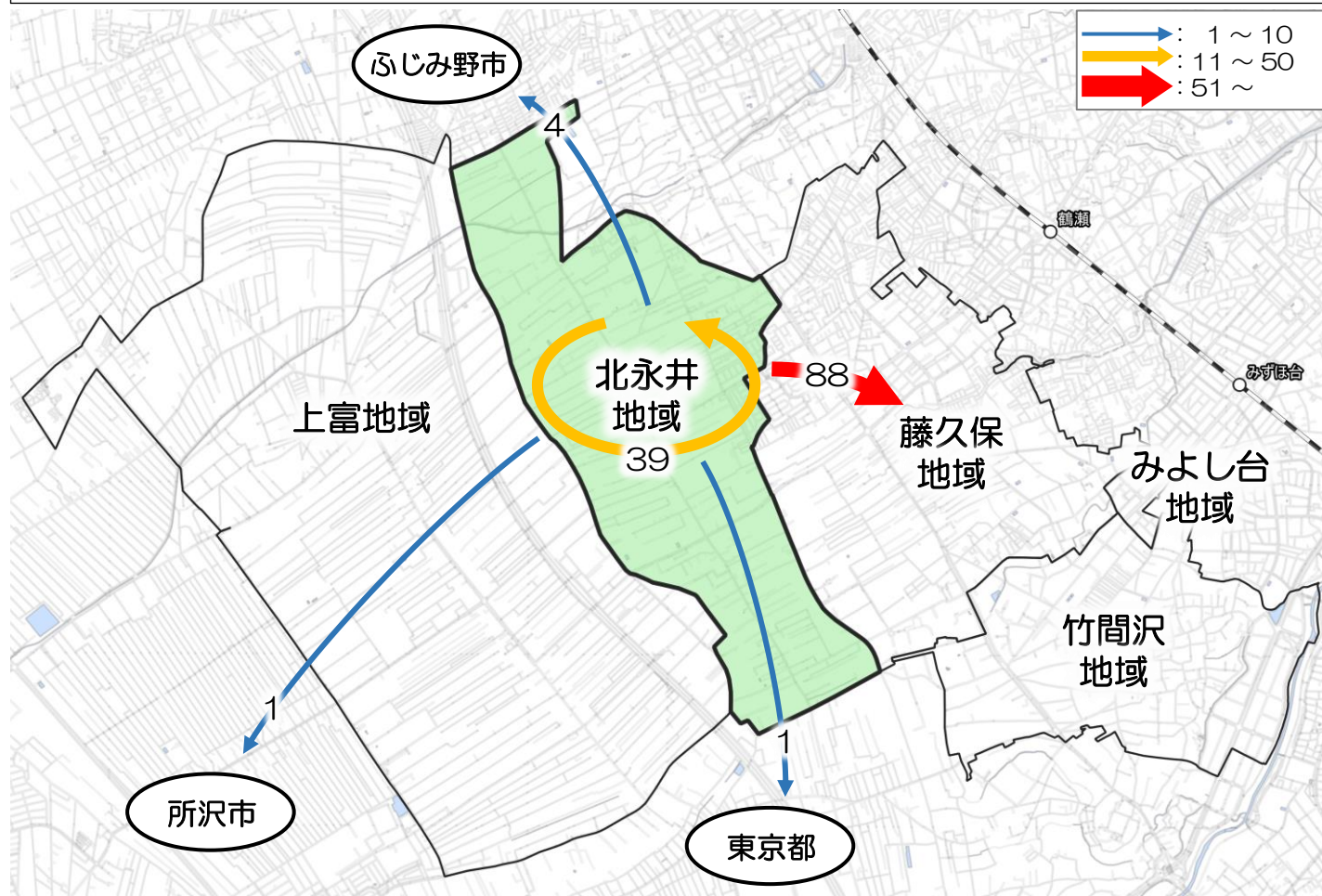


# 地区別カルテ (②北永井地域)

## ■移動特性 (R5町民アンケートより)

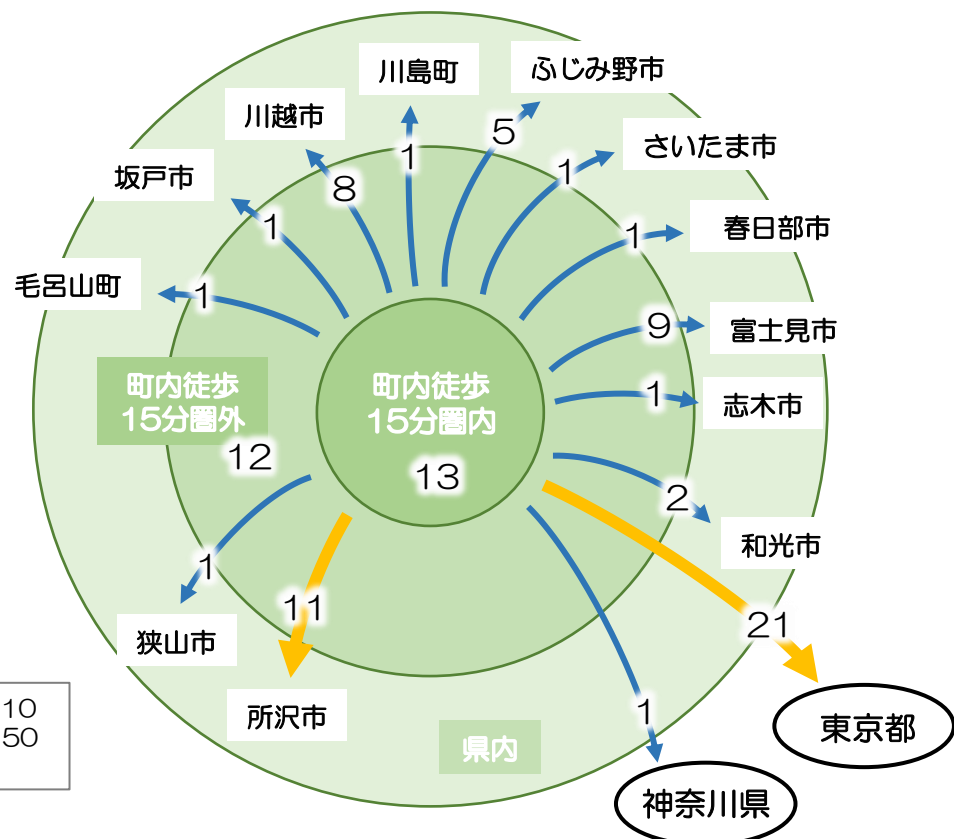
### 【買い物】

- 買い物先として、町内では「藤久保地域」や「北永井地域内」への移動が多くみられ、町外では「ふじみ野市」等への移動がみられる。



### 【通勤・通学】

- 通勤・通学先として、「所沢市」と「東京都」への移動が多くみられた。



### 【通院】

- 通院先として、町内では「藤久保地域」や「北永井地域内」への移動が多くみられ、町外では「富士見市」や「東京都」への移動が多くみられる。



## ■地区の現状・問題点と課題

### 【現状・問題点】

- 生活移動では、地域内あるいは藤久保地域への移動が多く見られる。
- 一方で、通勤・通学移動については、東武線沿線、所沢市方面にも需要が多く見られる。
- ライフバス1番線について、当地区での利用が最も多い。
- 公共交通利用者
- 短距離の移動需要が強いこともあり、晴天時は自転車での移動が多く見られるが、雨天時は自家用車のほか、タクシーを利用する町民も多く、公共交通での移動が浸透していない様子が見受けられる。

### 【課題】

- 地域内あるいは藤久保地域の医療施設、商業施設について、現行の公共交通からのアクセスを検証し、最適化を図る必要がある。
- その他地区内の移動について、目的地の分散状況によって交通形態の転換も視野に入れて、再編案を検討する必要がある。



# 地区別カルテ (③藤久保地域)

## ■地域現況

- ・ 地域人口は22,309人（全町に占める割合58.8%）であり、**地域内に広く分布している。**
- ・ 老年人口は5,998人、高齢化率は26.9%であり、**高齢化が進んでいる。**
- ・ 地域内には、ライフバスが5路線運行しており、**鉄道駅、三芳町役場など**にアクセスすることができる。

## 【地域概要】

表 地域概要

	藤久保地域	町全体
面積	3.041km <sup>2</sup>	15.33km <sup>2</sup>
世帯数	9,796世帯	16,771世帯
人口	総数	22,309
	0～14歳	2,946
	15～64歳	13,365
	65歳以上	5,998
	75歳以上	3,206

表 地域内の公共交通

路線	起終点	便数	
ライフバス			
1系統	鶴瀬駅西口～三芳・北永井循環線	みらい通り～みらい通り	26便
4系統	鶴瀬駅西口～三芳中学校経由・西原住宅循環線	三芳郵便局前～浄水場入口	20便
5系統	鶴瀬駅西口～三芳中学校経由・みずほ台駅西口折り返し線	三芳郵便局前～三芳役場	12便
6系統	鶴瀬駅西口～A上富経由・Bセントラル病院経由	三芳郵便局前～三芳役場	9便
8系統	鶴瀬駅西口～チェルシーガーデン経由・みずほ台駅西口折り返し線	みらい通り～日本シイエムケイ前	12便

- バス停(ライフバス)
  - バス停(西武バス)
  - ライフバス
  - 西武バス
  - 交通空白地域
- 施設
- 商業施設
  - 医療施設
  - 公共施設
  - 教育施設
  - 観光施設
- 人口メッシュ(500m)
- 1 - 50人
  - 51 - 100人
  - 101 - 250人
  - 251 - 600人
  - 601人以上

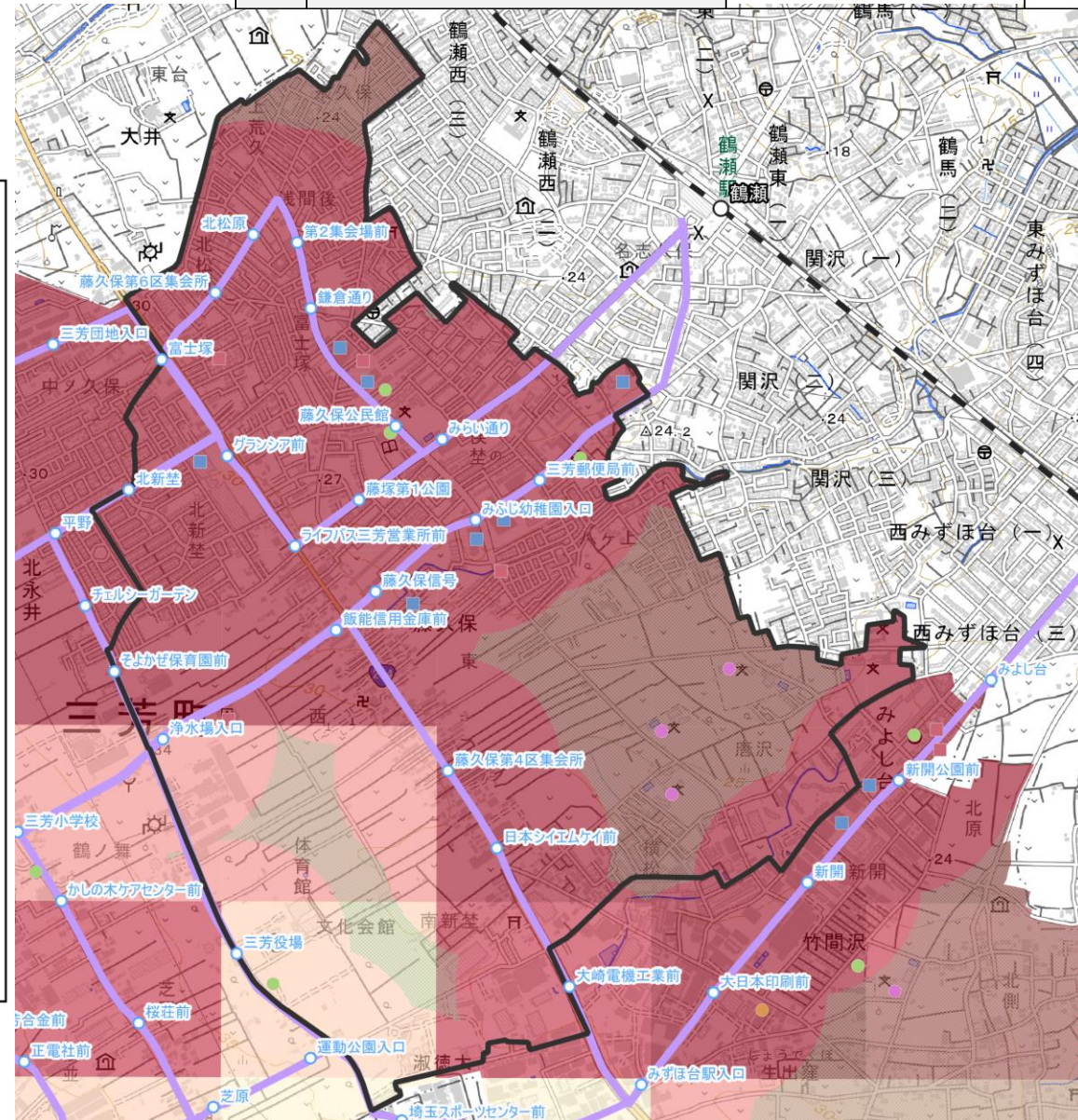


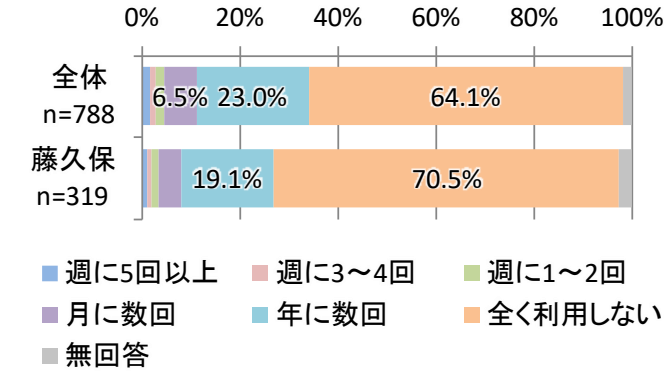
図 地域現況図（人口、施設立地、運行ルート）

## ■公共交通の利用状況

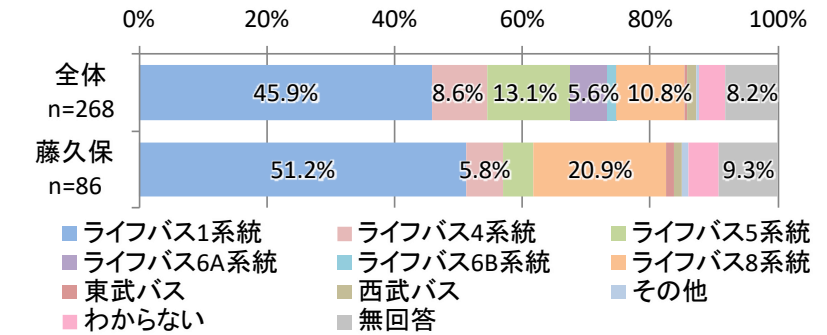
- ・ 地域内の路線バスの利用頻度は、「**全く利用しない**」が**70.5%**と多くなっている。
- ・ 最もよく利用する路線では、「**ライフバス1系統**」が**51.2%**と最も多くなっている。
- ・ 路線バスを利用する際の外出目的では、「**その他**」が**38.4%**と最も多くなっている。
- ・ 自宅から最寄り鉄道駅までの移動手段では、「**徒歩**」が天候に関わらず最も多くなっている。

## 【利用状況】（R5町民アンケートより）

### ① 路線バスの利用頻度



### ② 最もよく利用する路線



※ ②,③は①で「全く利用しない」以外を回答した人のみ

### ③ 路線バスを利用する際の外出目的

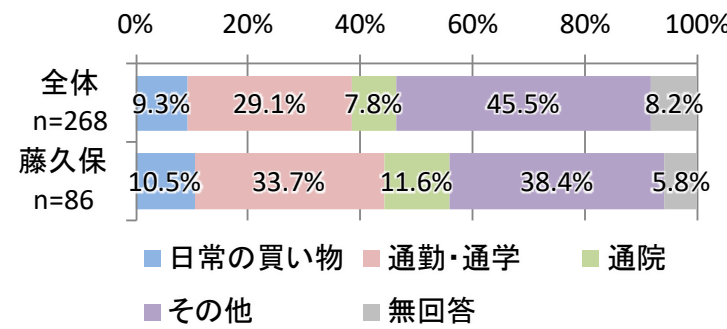
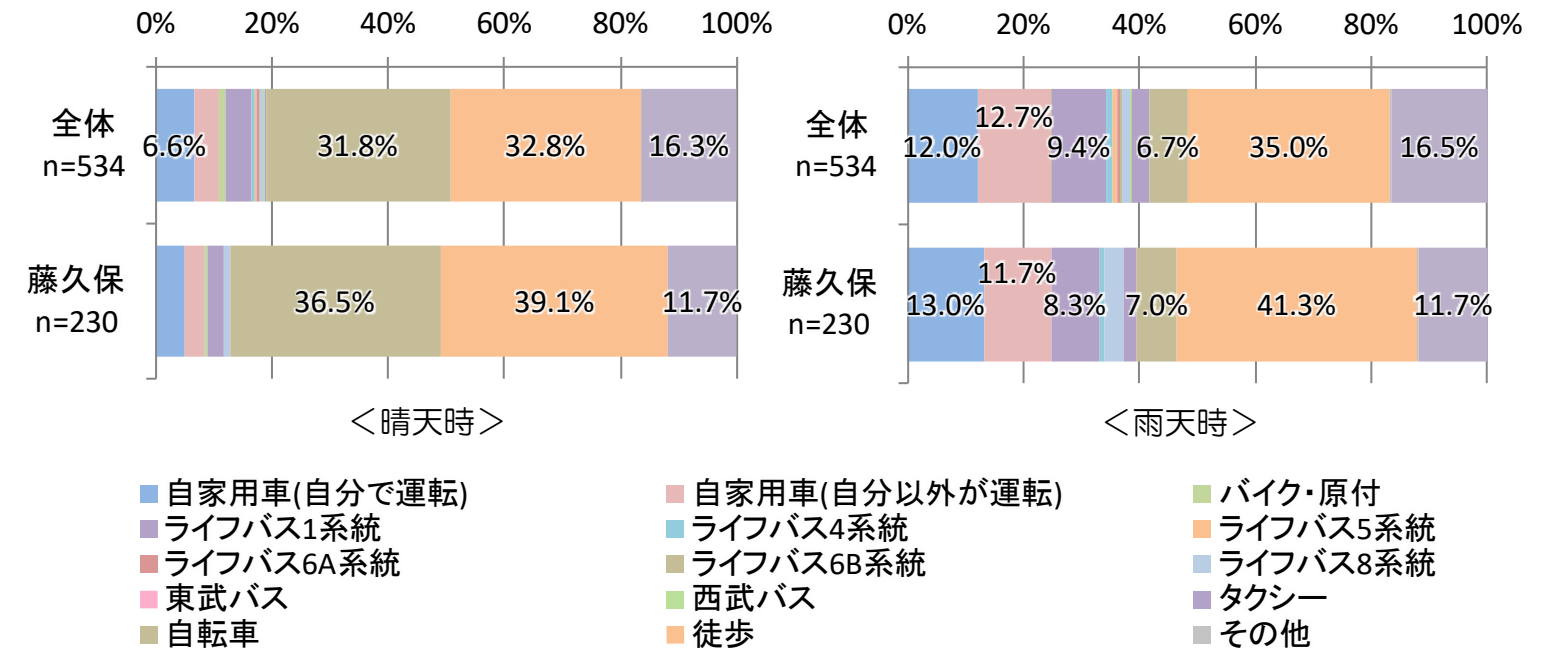


表 その他回答

回答内容	回答数	割合	回答内容	回答数	割合
趣味・娯楽・行楽	7	21.2%	娘の所に行く時	1	3.0%
鶴瀬駅に行くため	4	12.1%	町役場	1	3.0%
帰省	3	9.1%	都心に外出	1	3.0%
電車利用する時	2	6.1%	遊びに行く時	1	3.0%
旅行	2	6.1%	食事	1	3.0%
子供のりがたがるので勉強の為	2	6.1%	子供と一緒に出かける時、天候が悪い時	1	3.0%
飲酒を伴う食事会の時。	2	6.1%	無回答	5	15.2%
			合計	33	100.0%

### ④ 自宅から最寄り鉄道駅までの移動手段



※ 図は5%未満を非表示

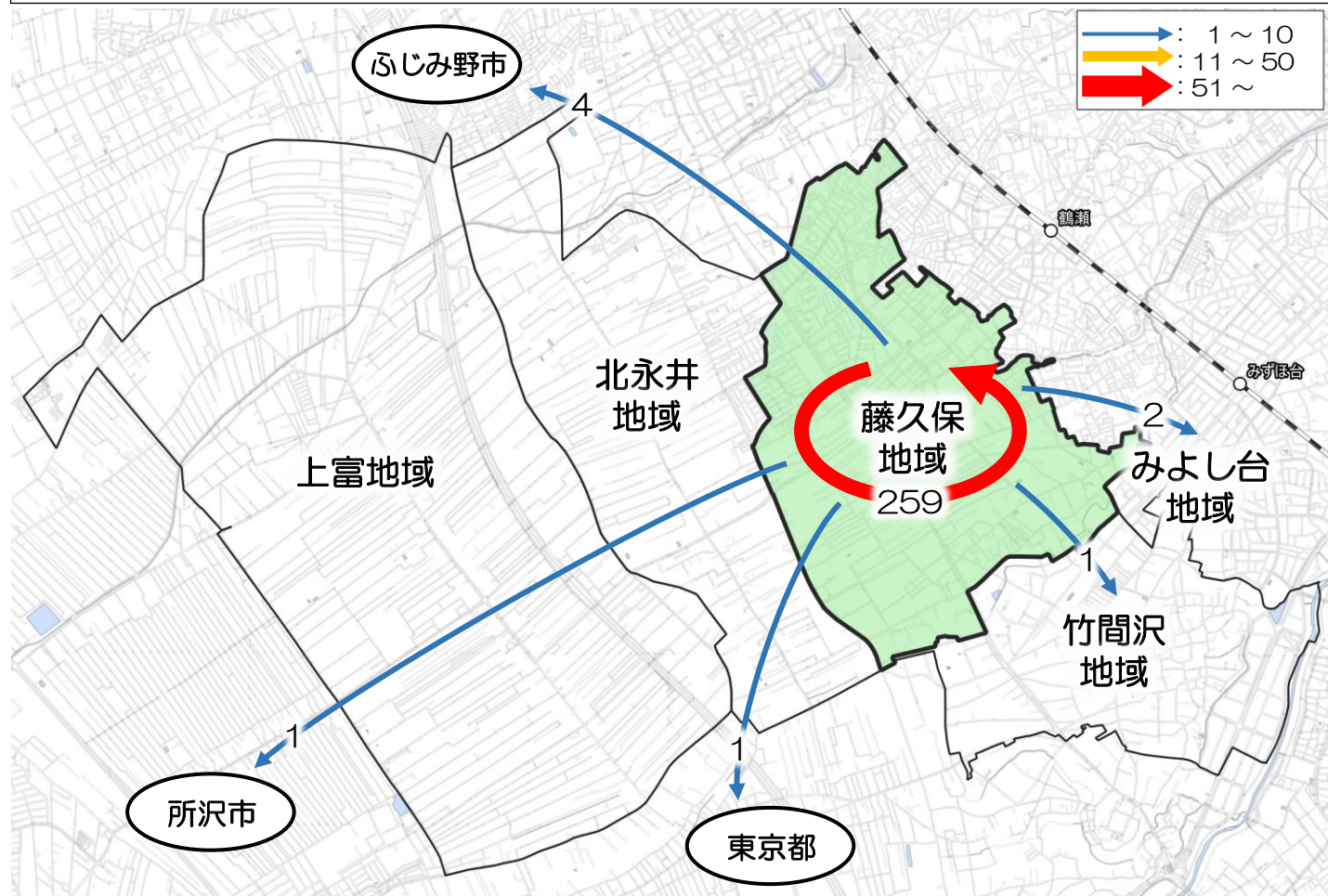


# 地区別カルテ (③藤久保地域)

## ■移動特性 (R5町民アンケートより)

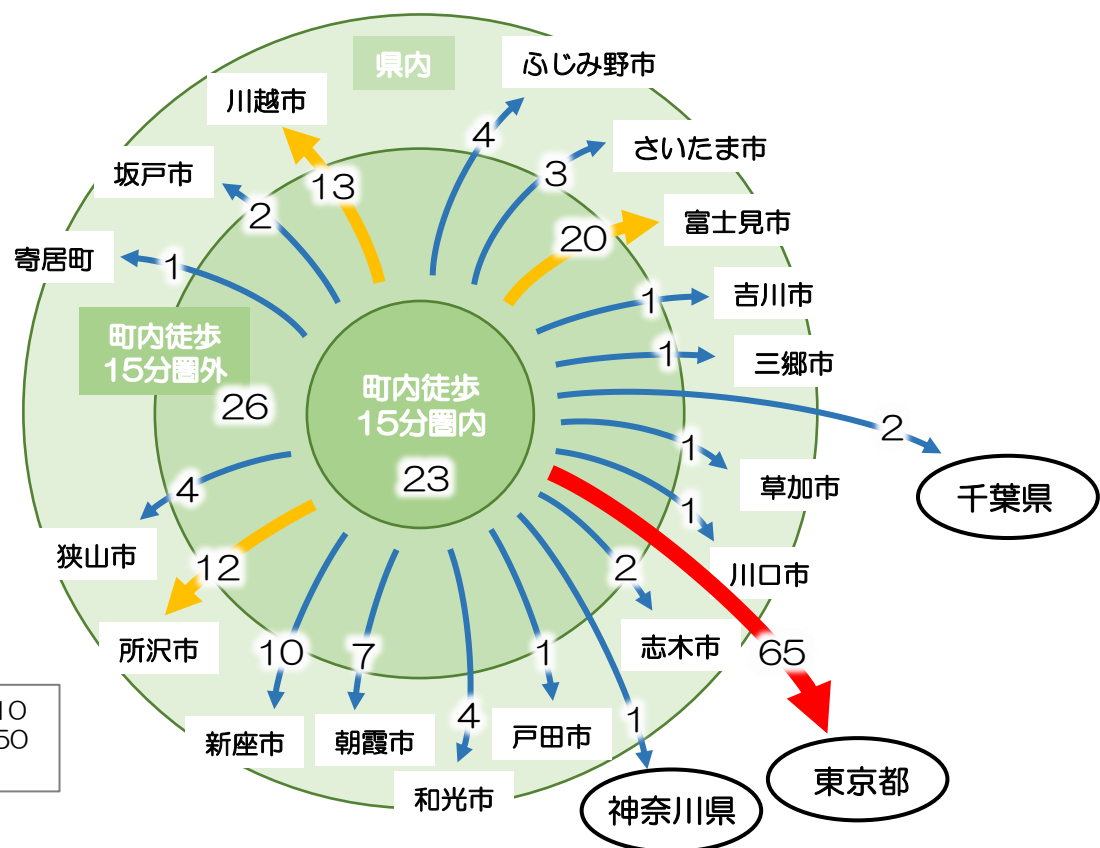
### 【買い物】

- 買い物先として、町内では「藤久保地域内」への移動が多くみられ、町外では「ふじみ野市」等への移動がみられる。



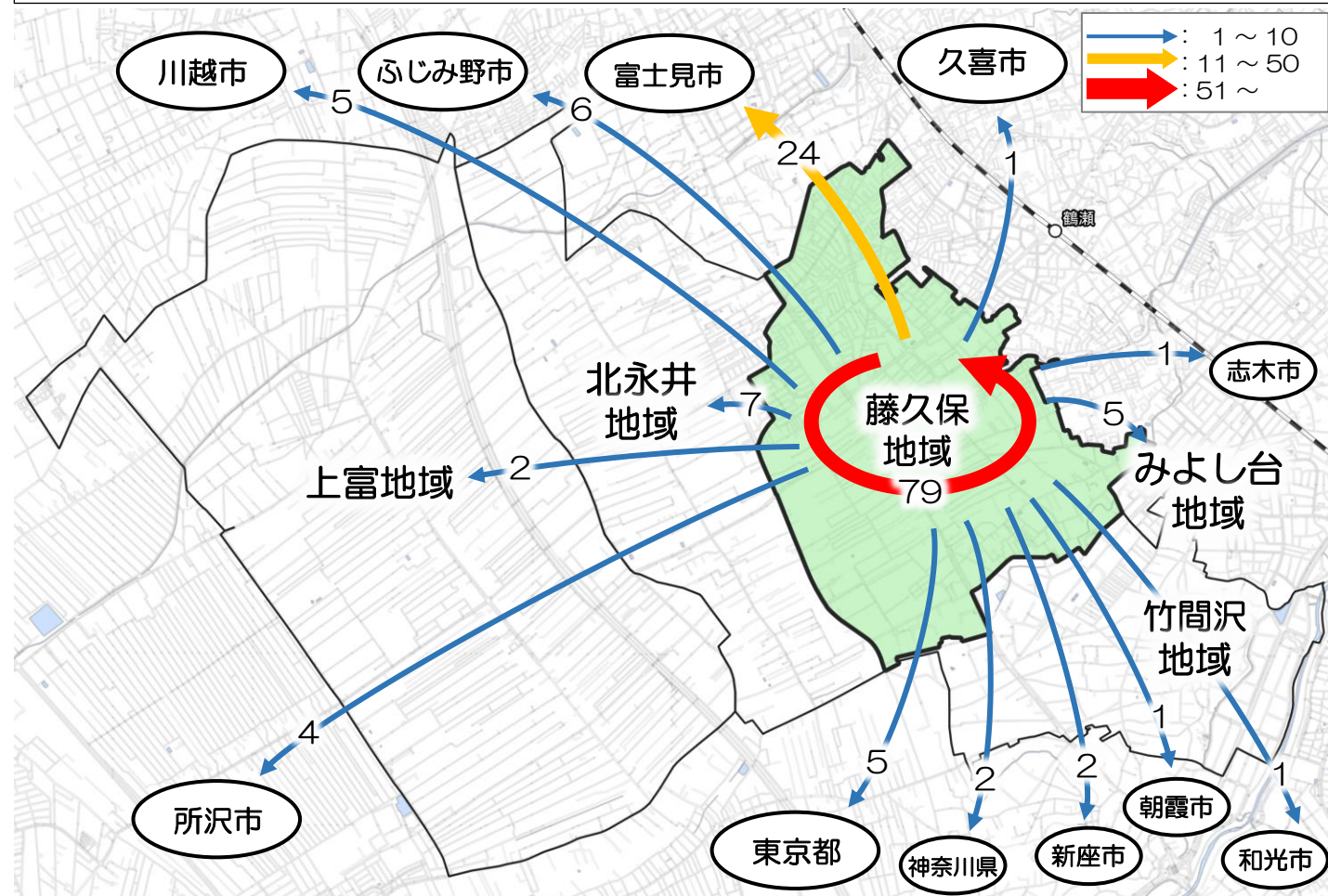
### 【通勤・通学】

- 通勤・通学先として、「東京都」や「富士見市」等への移動が多くみられる。



### 【通院】

- 通院先として、町内では「藤久保地域内」への移動が多くみられ、町外では「富士見市」への移動が多くみられる。



## ■地区の現状・問題点と課題

### 【現状・問題点】

- 人口集中が見られる区域にて、公共交通空白地となっている箇所がある。
- 生活移動については、買い物、通院需要いずれも、地域内で完結する傾向にある。一方で、通勤・通学については東京都への移動が特に多く、東武鉄道駅へのアクセスが重要となっている様子が見受けられる。

### 【課題】

- 買い物・通院いずれも地域内の移動が多く、高齢者など徒歩・自転車での移動が難しい地域内での細やかな移動への対応が重要である。
- ネットワーク検討にあたっては、通勤時間帯は鉄道駅への集中的なアクセス手段、日中の時間帯は地域内移動の柔軟性が重要である。



# 地区別カルテ (④みよし台地域)

## ■地域現況

- ・ 地域人口は1,882人（全市に占める割合5.0%）であり、**地域内に広く分布している。**
- ・ 老年人口は804人、高齢化率は42.7%であり、**高齢化が進んでいる。**
- ・ 地域内には、ライフバスが2路線運行しており、**みずほ台駅、三芳町役場、鶴瀬駅**などにアクセスすることができる。

## 【地域概要】

表 地域概要

		みよし台地域	町全体
面積		0.092km <sup>2</sup>	15.33km <sup>2</sup>
世帯数		961世帯	16,771世帯
人口	総数	1,882	37,942
	0～14歳	124	4,514
	15～64歳	954	22,559
	65歳以上	804	10,869
	75歳以上	414	1,778

表 地域内の公共交通

路線		起終点	便数
ライフバス			
5系統	鶴瀬駅西口～三芳中学校経由・みずほ台駅西口折り返し線	新聞公園前～みよし台	12便
8系統	鶴瀬駅西口～チェルシーガーデン経由・みずほ台駅西口折り返し線	新聞公園前～みよし台	12便

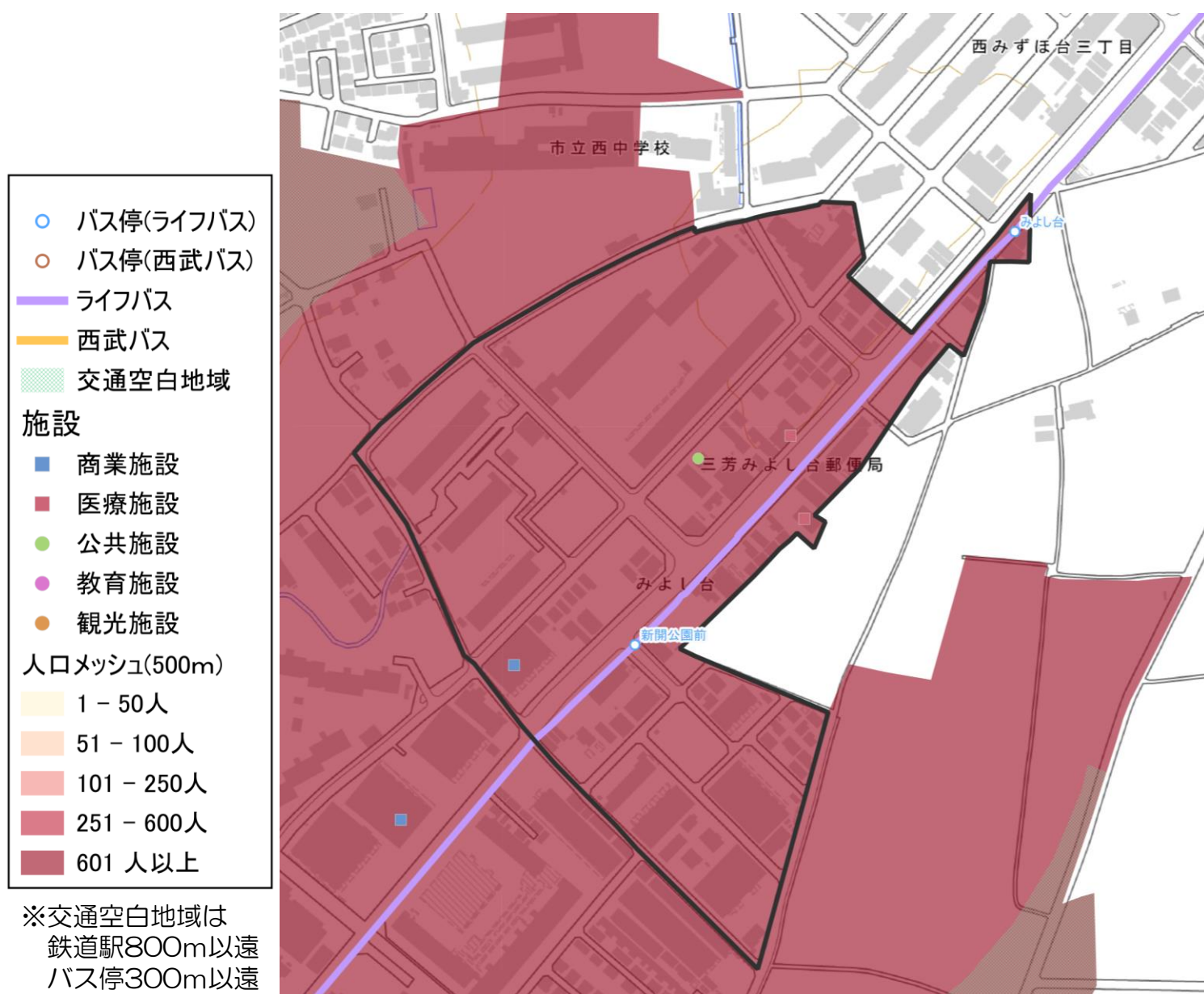


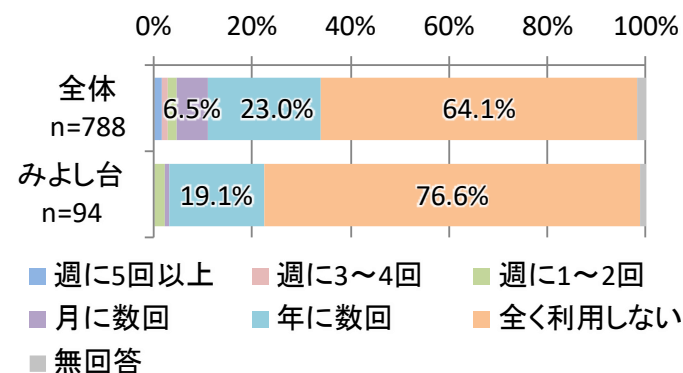
図 地域現況図（人口、施設立地、運行ルート）

## ■公共交通の利用状況

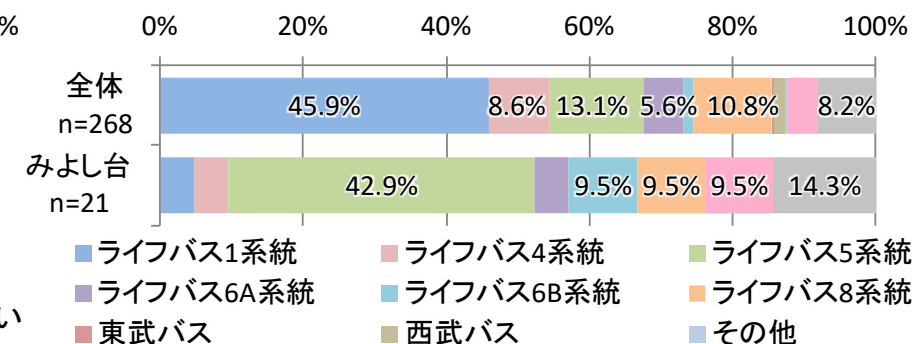
- ・ 地域内の路線バスの利用頻度は、「**全く利用しない**」が**76.6%**と多くなっている。
- ・ 最もよく利用する路線では、「**ライフバス5系統**」が**42.9%**と最も多くなっている。
- ・ 路線バスを利用する際の外出目的では、「**その他**」が**71.4%**と最も多くなっている。
- ・ 自宅から最寄り鉄道駅までの移動手段では、「**徒歩**」が天候に関わらず最も多くなっている。

## 【利用状況】（R5町民アンケートより）

### ① 路線バスの利用頻度



### ② 最もよく利用する路線



※ ②,③は①で「全く利用しない」以外を回答した人のみ

### ③ 路線バスを利用する際の外出目的

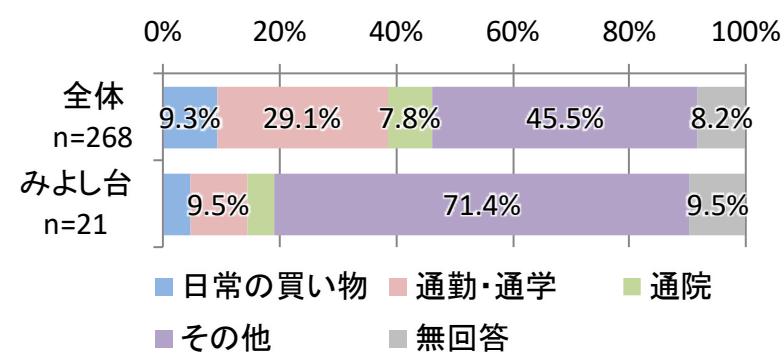
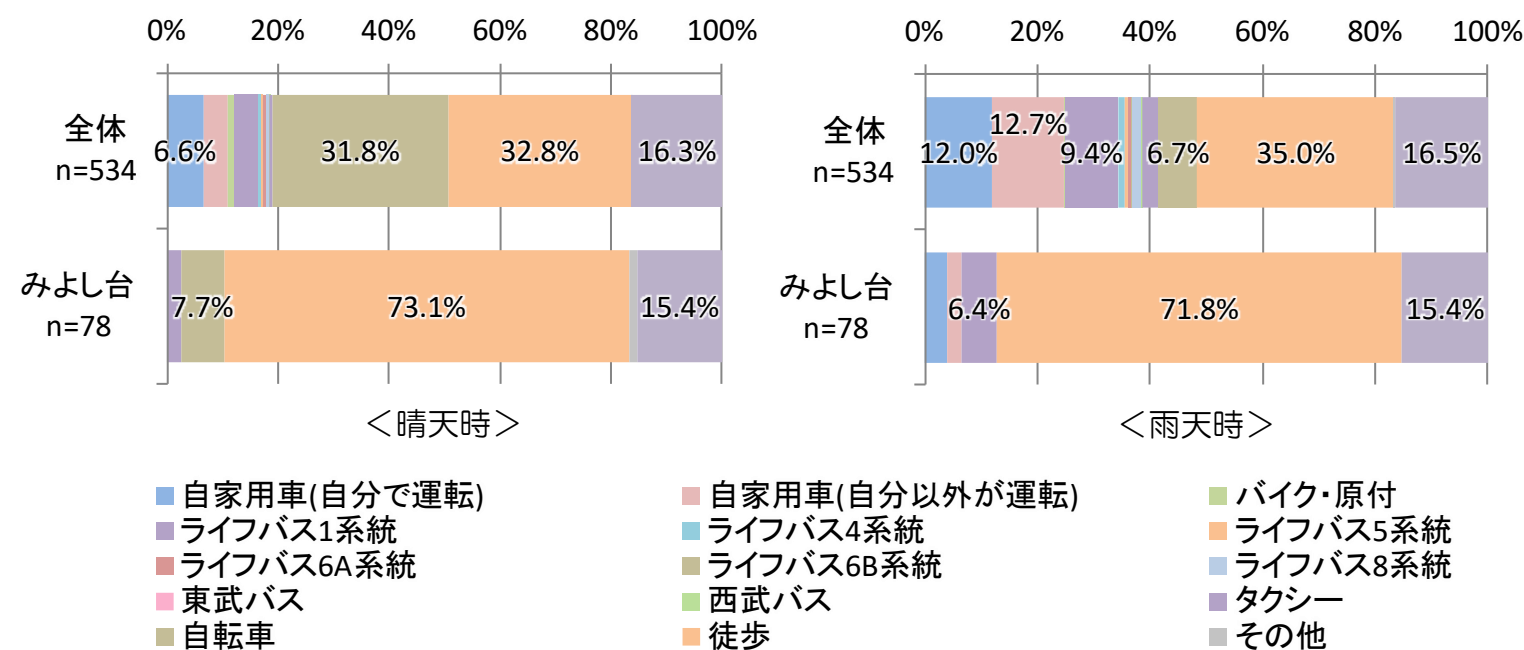


表 その他回答

	回答数	割合
三芳町役場	9	60.0%
コロナワクチン接種	2	13.3%
藤久保公民館での夜の会合（公的）	1	6.7%
食事	1	6.7%
役場、墓参り	1	6.7%
スポーツジム	1	6.7%
無回答	0	0.0%
合計	15	100.0%

### ④ 自宅から最寄り鉄道駅までの移動手段



※ 図は5%未満を非表示

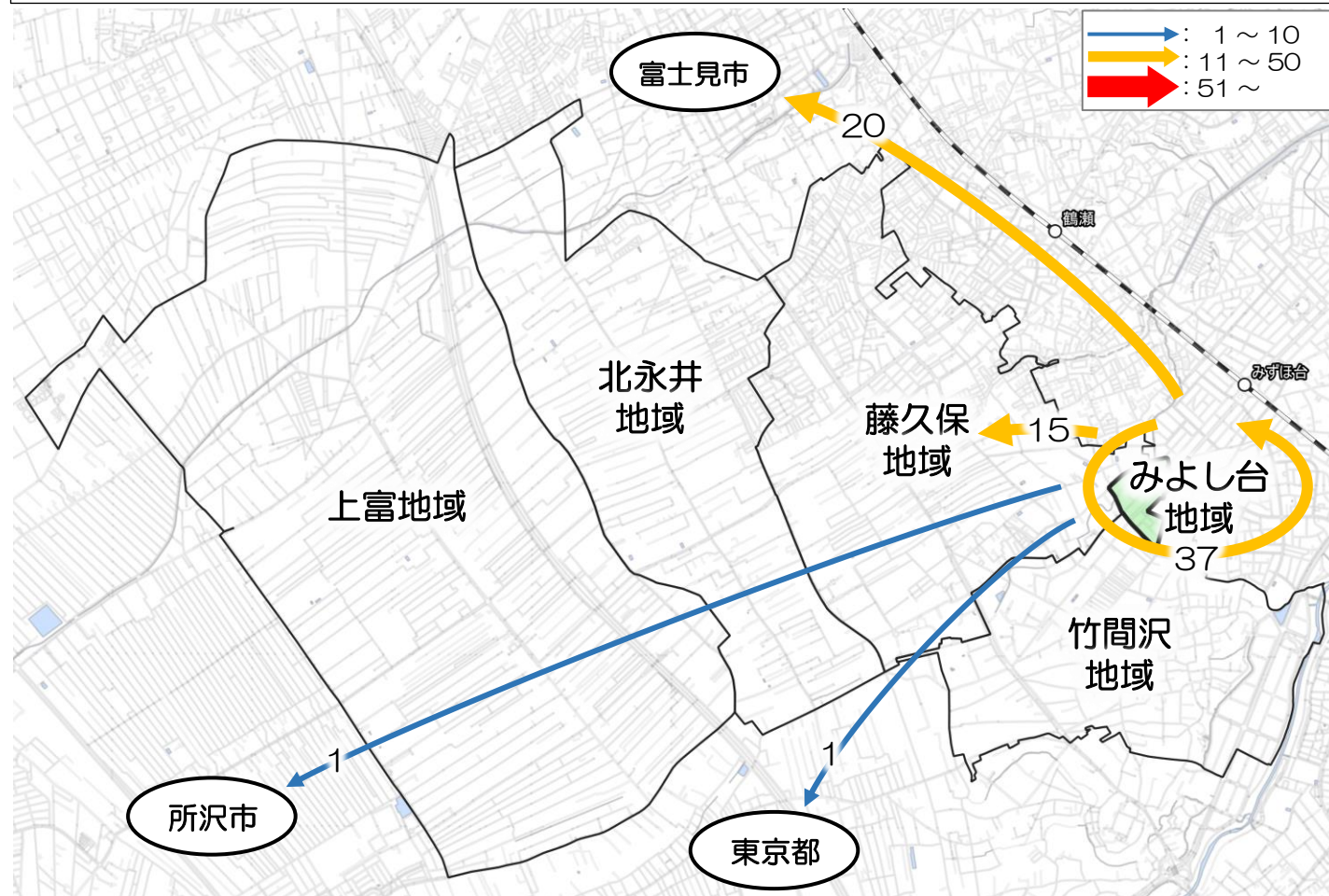


# 地区別カルテ (④みよし台地域)

## ■移動特性 (R5町民アンケートより)

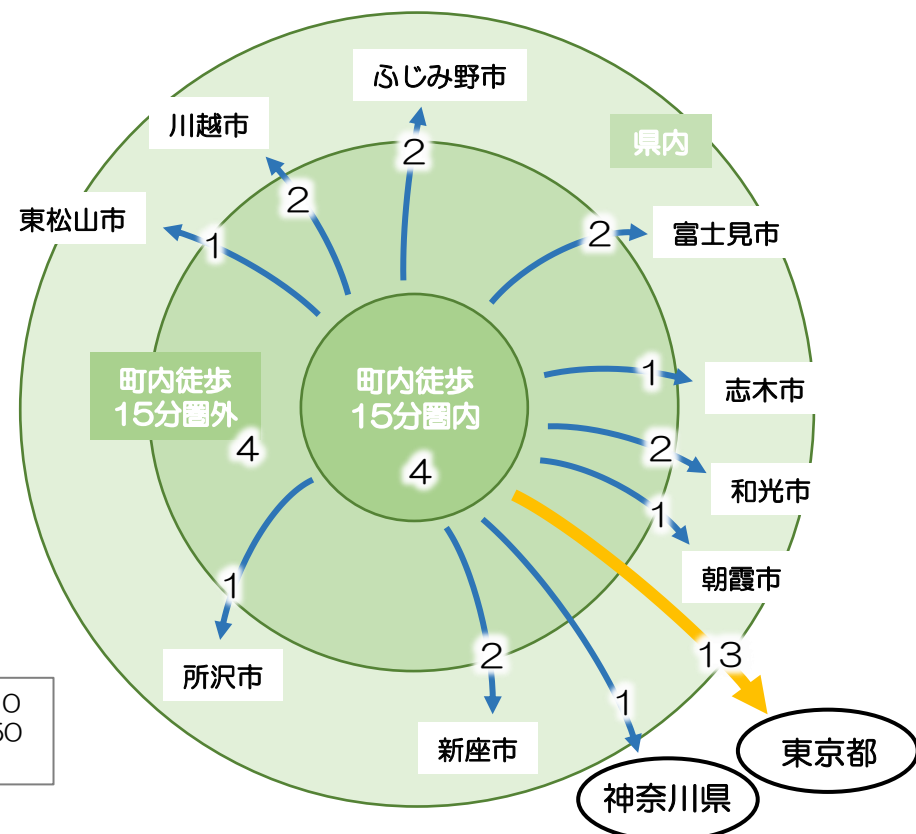
### 【買い物】

- 買い物先として、町内では「みよし台地域内」や「藤久保地域」への移動が多くみられ、町外では「富士見市」への移動が多くみられる。



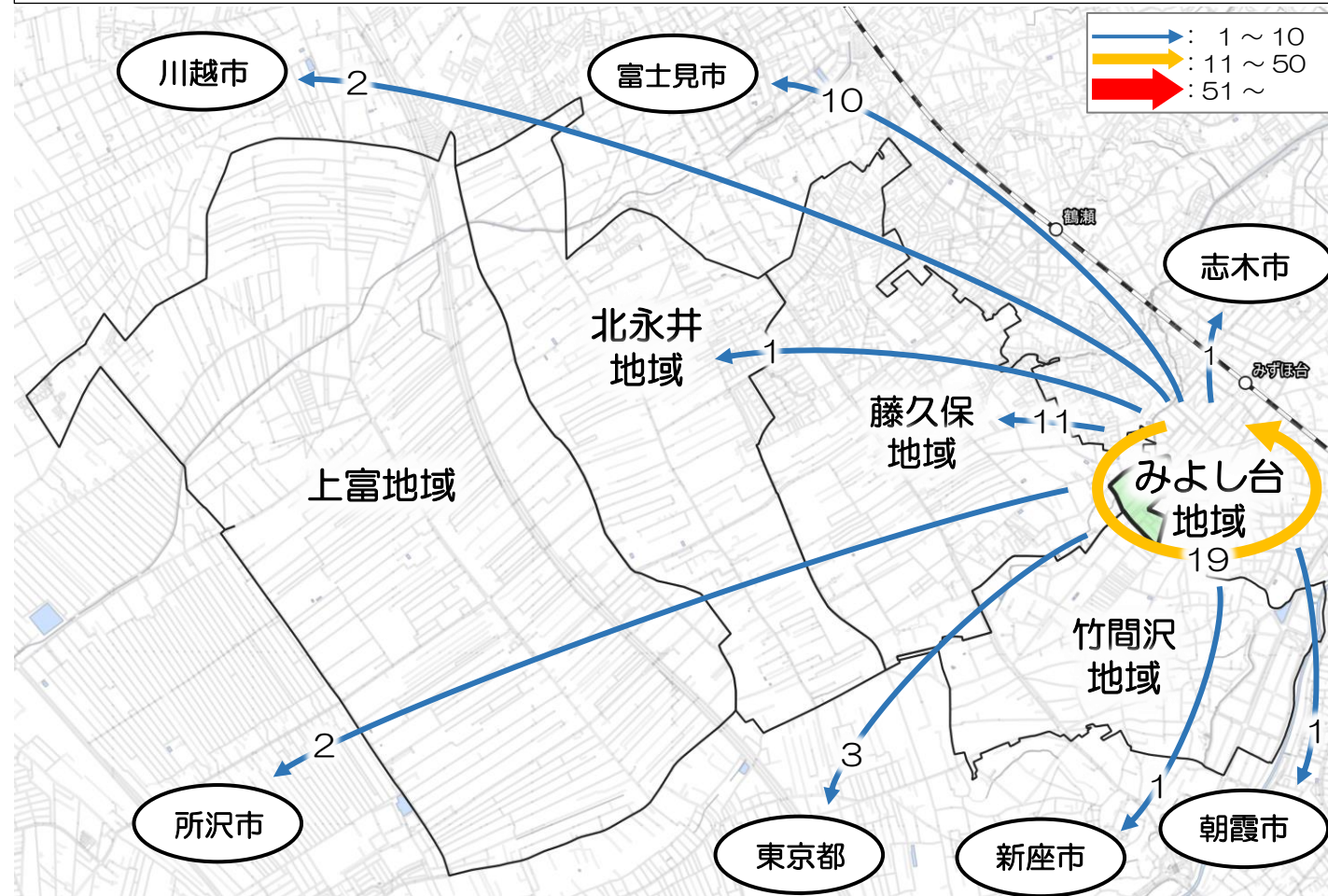
### 【通勤・通学】

- 通勤・通学先として、「東京都」への移動が最も多くみられる。



### 【通院】

- 通院先として、町内では「みよし台地域内」への移動が多くみられ、町外では「富士見市」への移動が多くみられる。



## ■地区の現状・問題点と課題

### 【現状・問題点】

- 本町の中でも鉄道駅に近い地域であることから、通勤・通学などでの鉄道移動については、鉄道駅まで徒歩で移動するケースが多い。
- 買い物・通院といった日常の移動も地域内で完結することが多く、徒歩での移動が中心である。
- 路線バスの利用用途では、三芳町役場への移動が全体の4割と最も多い。

### 【課題】

- 既存公共交通の利便性向上という観点では、三芳町役場までのアクセス性向上が重要である。



# 地区別カルテ (⑤竹間沢地域)

## ■地域現況

- ・ 地域人口は4,079人（全市に占める割合10.8%）であり、北部に特に集中している。
- ・ 老年人口は960人、高齢化率は23.5%であり、**高齢化が進んでいる**。
- ・ 地域内には、北西端の一部に路線バスが2路線運行しており、**みずほ台駅、三芳町役場、鶴瀬駅**などにアクセスすることができる。

## 【地域概要】

表 地域概要

	竹間沢地域	町全体
面積	1.933km <sup>2</sup>	15.33km <sup>2</sup>
世帯数	1,714世帯	16,771世帯
人口	総数	4,079
	0～14歳	453
	15～64歳	2,666
	65歳以上	960
	75歳以上	481

表 地域内の公共交通

	路線	起終点	便数
ライフバス			
5系統	鶴瀬駅西口～三芳中学校経由	鶴瀬駅西口～みずほ台駅西口	12便
	みずほ台駅西口折り返し線	みずほ台駅西口	
8系統	鶴瀬駅西口～チェルシーガーデン経由	鶴瀬駅西口～みずほ台駅西口	12便
	みずほ台駅西口折り返し線	みずほ台駅西口	

- バス停(ライフバス)
  - バス停(西武バス)
  - ライフバス
  - 西武バス
  - 交通空白地域
- 施設
- 商業施設
  - 医療施設
  - 公共施設
  - 教育施設
  - 観光施設
- 人口メッシュ(500m)
- 1 - 50人
  - 51 - 100人
  - 101 - 250人
  - 251 - 600人
  - 601人以上

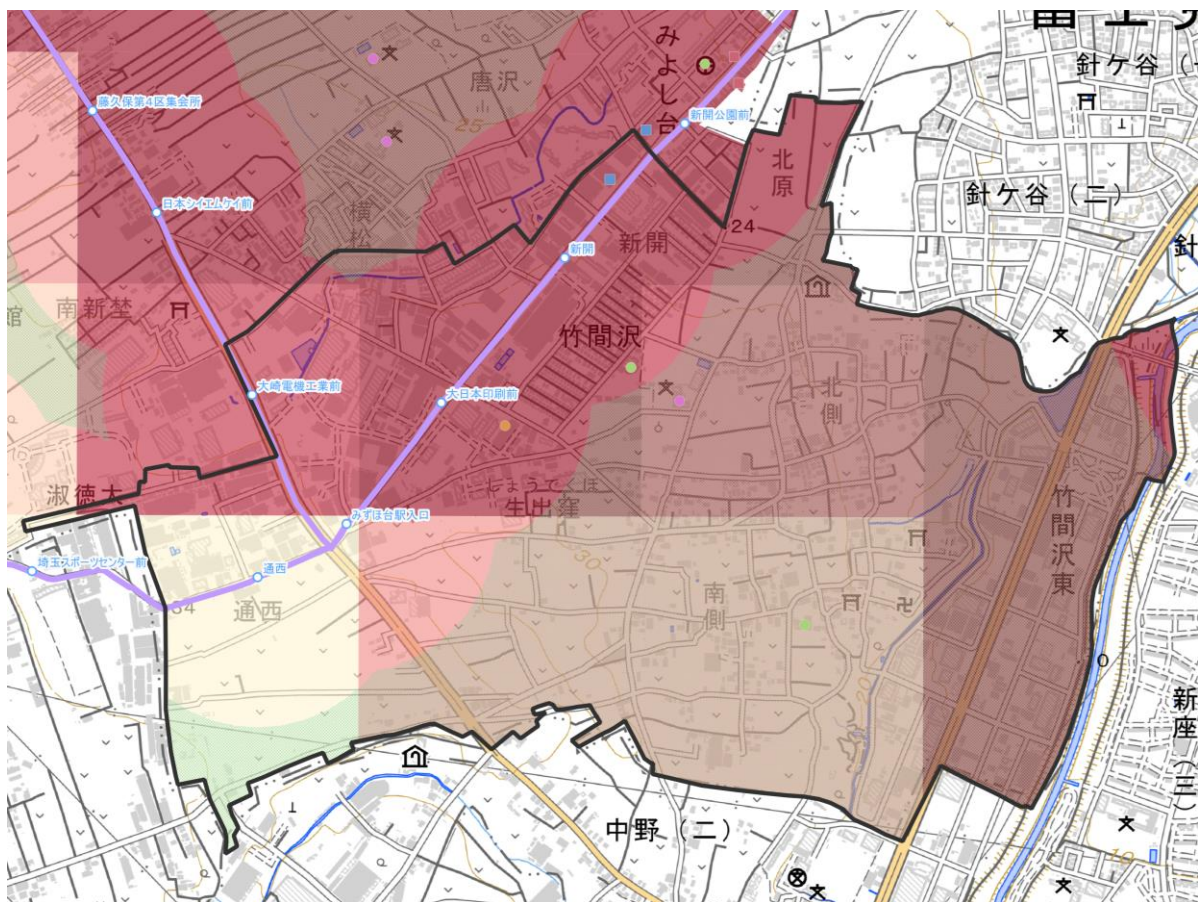


図 地域現況図（人口、施設立地、運行ルート）

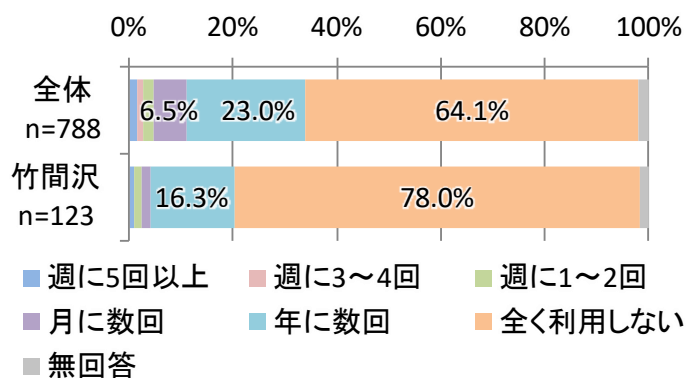
※交通空白地域  
鉄道駅800m以遠  
バス停300m以遠

## ■公共交通の利用状況

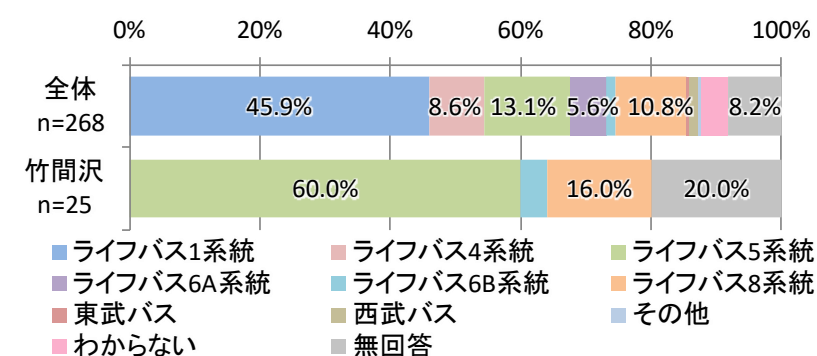
- ・ 地域内の路線バスの利用頻度は、「**全く利用しない**」が**78.0%**と多くなっている。
- ・ 最もよく利用する路線では、「**ライフバス5系統**」が**60.0%**と最も多くなっている。
- ・ 路線バスを利用する際の外出目的では、「**その他**」が**52.0%**と最も多くなっている。
- ・ 自宅から最寄り鉄道駅までの移動手段では、晴天時は「**自転車**」が**34.8%**、雨天時は「**徒歩**」が**38.0%**とそれぞれ多くなっている。

## 【利用状況】（R5町民アンケートより）

### ① 路線バスの利用頻度



### ② 最もよく利用する路線



※ ②,③は①で「全く利用しない」以外を回答した人のみ

### ③ 路線バスを利用する際の外出目的

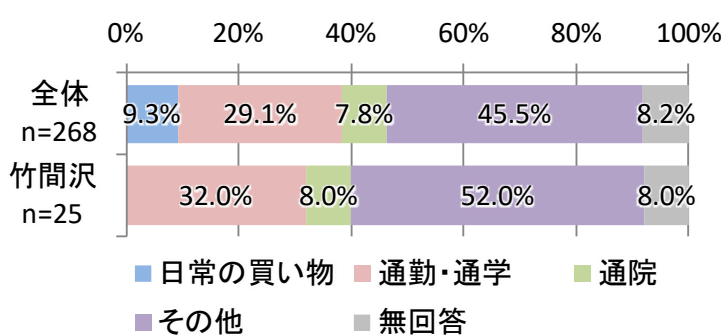
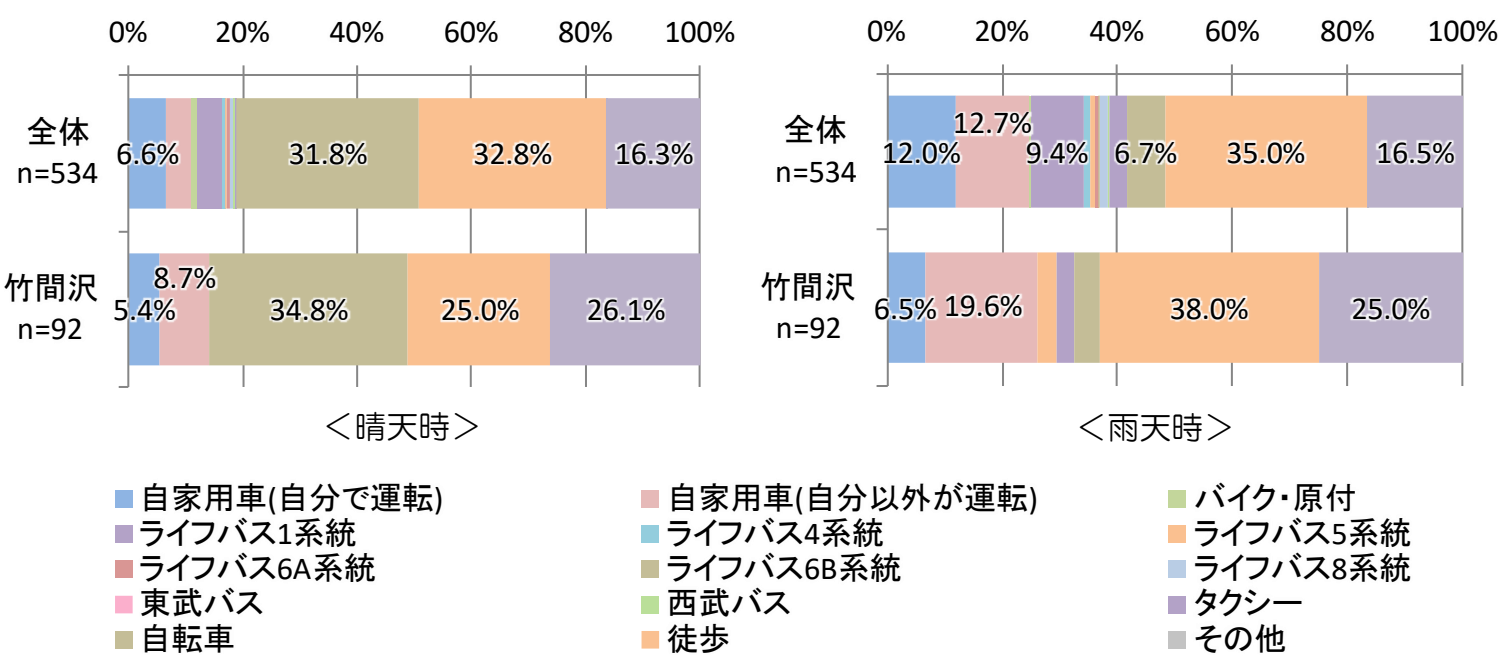


表 その他回答

回答内容	回答数	割合
都内へ行くため	2	15.4%
雨天時	2	15.4%
趣味・娯楽・行楽	2	15.4%
駅に向うため	1	7.7%
帰宅	1	7.7%
駅周辺のスーパーや電車に乗る場合の買物のための駅と自宅の往復	1	7.7%
無回答	4	30.8%
合計	13	100.0%

### ④ 自宅から最寄り鉄道駅までの移動手段



※ 図は5%未満を非表示

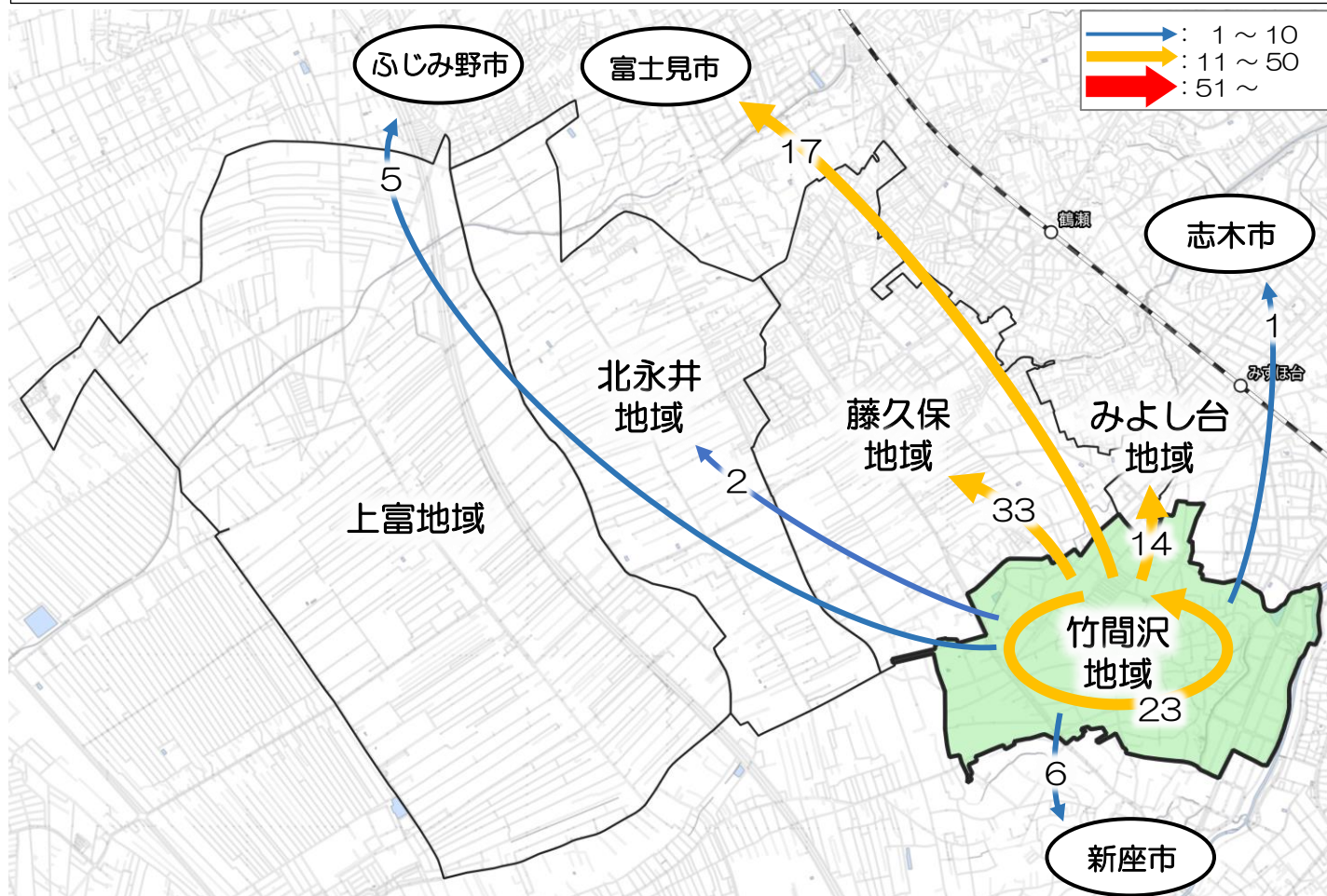


# 地区別カルテ (⑤竹間沢地域)

## ■移動特性 (R5町民アンケートより)

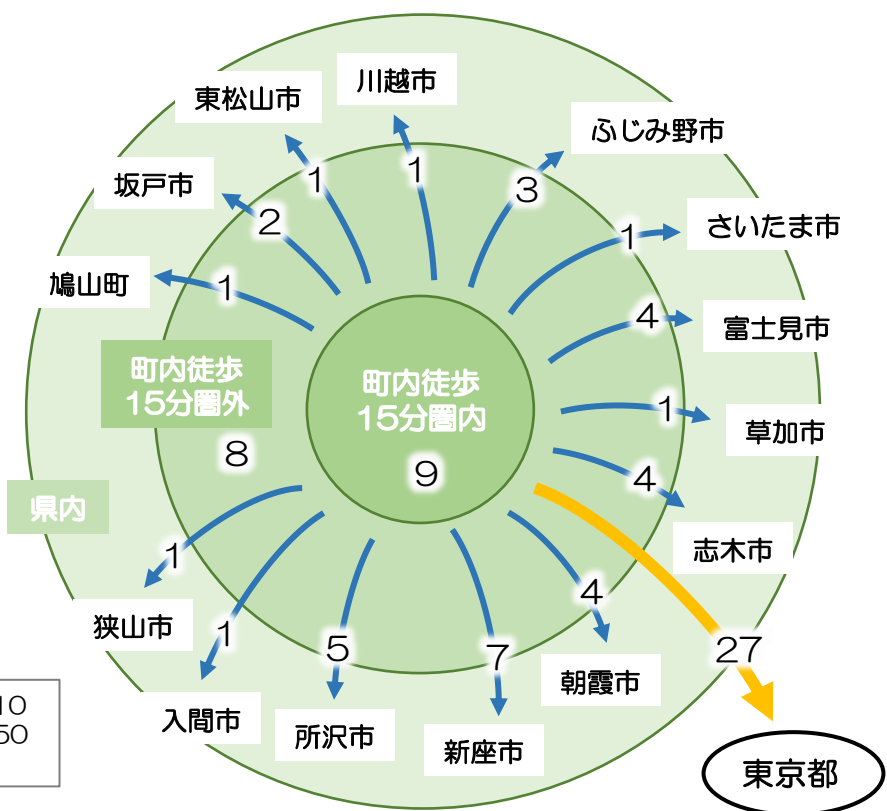
### 【買い物】

- 買い物先として、町内では「竹間沢地域内」や「藤久保地域」への移動が多くみられ、町外では「富士見市」への移動が多くみられる。



### 【通勤・通学】

- 通勤・通学先として、「東京都」への移動が最も多くみられる。



### 【通院】

- 通院先として、町内では「藤久保地域」や「みよし台地域」への移動が多くみられ、町外では「富士見市」への移動が多くみられる。



## ■地区の現状・問題点と課題

### 【現状・問題点】

- 地域の多くが公共交通空白地となっている。
- 本町の中でも鉄道駅に近い地域であるため、鉄道駅への移動については自転車または徒歩での移動が多いほか、タクシーでの移動も一定数みられる。
- 買い物・通院などの生活移動は他地域または他市町の施設へ移動するケースが多く、市外へ移動する場合は主に自家用車を用いている。その他のケースでは自転車・徒歩が多い。

### 【課題】

- 公共交通空白地に居住する高齢者においては、免許返納後の日常生活における移動手段として、公共交通サービスの整備が求められている。